

人と夢を紡ぐコミュニケーションマガジン

FD

Fine Dream 福岡大学学園通信

January 2011 NO. 32

人をつくり、時代を拓く。

福岡大学

総

自らを磨き総合力を身に付けよう
社会で活躍する未来を思い描きながら

WINTER



FD

Fine Dream 福岡大学広報委員会

FDは、「この福岡大学のキャンパスで在学生の皆さん一人一人が、美しく素晴らしい夢 (Fine Dream) を育んでくれるように」との願いを込めるとともに、あわせて FUKUOKA DAIGAKUの頭文字を構成し、愛称として名付けられています。

「総」

自らを磨き総合力を身に付けよう
社会で活躍する未来を思い描きながら

Contents

特集

03 「働く」ということ

- 鎌田理事長が語る「働く」ということ
- 「働く先輩たち」の座談会
- 就活日記Myチャレンジ 在学生版
- 専門家に聞く昨今の就職事情

17 今、考えたい「食」のこと

18 知っていますか？

19 情熱の証

- ソフトテニス部
- 航空部
- 器楽部
- 英文タイプ研究部

21 FUKUDIARY

2010年度 第6回学生チャレンジプロジェクト

23 福大生ステップアッププログラム

第8回 今を生きる教養講演会 元国連事務次長 明石 康氏

25 先生の研究

香野 淳 理学部教授
ナノテクノロジー — ナノスケールの世界の現象を科学し、応用する—

27 時代を駆ける先輩たち

株式会社 杜の蔵 清酒杜氏 末永 雅信さん

29 福岡大学病院新診療棟 待望の開院

31 時は流れて

33 Fの鼓動

34 リーガルクリニック／ヒューマン ディベロップメント センター

35 ななくま通信

41 地域の福大サポーター

FD

January, 2011
NO.32

第32号(通巻202号)平成23年1月17日発行

編集・発行:福岡大学広報委員会
(福岡大学企画広報課)

〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19-1
TEL:092-871-6631(代)
E-mail:fdpr@adm.fukuoka-u.ac.jp

『FD』に対するご意見、
ご感想をお寄せください。

より良い広報誌づくりのために、本誌に対する読者の皆さまからのご意見、ご感想などをお待ちしています。また、情報提供などありましたらお知らせください。

春夏秋冬(編集部より)

今号の特集は「働く」ということ。企業等で活躍されている方のお話を伺った。社会で働くことの厳しさややりがいについて、学生の皆さんが、より現実味を持って感じ取れるものがあればと思う。将来、自分が何をしたいのか、どういう社会人像を描くのかを考えるきっかけにしてほしい。

働くとは、「誰を楽にすること」と聞いたことがある。いつもよりも少し頑張って、周りの人を楽にすること。「福大生」。そこには必ず「誰かのために」という思いがある。その思いがあるからこそ働くことに懸命になれる。毎日当たり前のように母は食事の支度をし、父は遅くまで仕事をしている。近所の公園ではボランティアの方が朝早くから掃除をしている。

働くとは、家族であり友人でありセミ仲間である。いずれは、職場の同僚であり取引先でありお客さまである。各々がそれぞれの誰かを楽にすること。そのことで、給料や笑顔や感謝の言葉をもらう。それが働くというのではないだろうか。

皆さん、働いていますか？感謝していますか？

今年は卯年。皆さんにとって高く飾ることができる年となりますように。

建学の精神

思想堅実・穩健中正
質実剛健・積極進取

【教育研究の理念】

「人材教育」と「人間教育」の共存

「学部教育」と「総合教育」の共存

「地 域 性」と「国 際 性」の共存

年頭の辞

本学は、教育・研究・医療の3つの高度機能を果たすことを普遍的使命とし、責任ある教育、探究心と地道な努力による研究、高い質を備えた医療に全力を傾注しています。また、新たに地域社会の中で地域連携機能を果たすことも重要な社会的責務としています。

これからも本学は、「建学の精神」と「教育研究の理念」に基づく全人教育を通して、国際社会と地域を支える有為な人材を輩出していきます。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

福岡大学長 衛藤 卓也





「社長時代は、現場の動きを知っておくために常に動き回っていました」という鎌田理事長。

このような、課題発見型の取り組みは、元来日本人が得意としている。そのためには、たくさん本を読むこと。読書は、誰かの経験を体験できる貴重な時間であり、それによって思考力は確実に養われます。私が大学生だった頃は、旧制高校の雰囲気はまだ残っていた。哲学や倫理学を学ぶのが当然の時代でした。図書館に2週間程こもって西田哲学やカントの哲学書を読んだりもしました。難解過ぎて理解するには至りませんでした。が、あえて難しいものに挑戦するという心構えが大切だと思います。絵画や音楽など芸術を鑑賞するのも良いことです。心が豊かになっていく

友人と少し背伸びをした議論をしてみる。就職状況は、近年でも稀にみる氷河期だと報道されています。昨年11月、九州の完全失業率は5.3%。有効求人倍率は0.47倍と、非常に厳しい状況であり、今の学生の皆さんは大変だと思います。一方で、少子高齢化が進み、医療福祉分野では慢性的に人材が不足しています。また、日々発展するIT関連分野でもソフト技術者が不足しています。失業と人材不足のいわゆるミスマッチが生まれているのです。このようなミスマッチを解消していくためには、医療福祉分野、IT関連分野などの新成長分野に適合する人材を育てる教育が必要

が、かかるものです。しかし、多少時間がかかろうとも、働く以上はそこを目指さなければいけないと思います。少し堅い話になりますが、マックス・ウェーバーは著書の「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」の中で、自分の仕事を天職と考える使命感を持って勤め、勤勉と節約を旨とする生活態度が近代資本主義の発展を支えてきたと書いています。資本家は利益を重ね、資本を拡大していくことが使命であり、雇用される側も働いて給料を得ることが社会に貢献している証であるわけです。利益を得ること、給料をもらうことは、社会に貢献する見返りだと考える。そして、頂いた給料で家族を養い、仕事面だけでなくプライベート面も豊かにして、幸せな生活を送ること。これもまた、社会で働くことの大きな目的でしょう。

必ず誰かが見ていてくれる。働き始めてすぐに意義や目的を見いだすという理由の一つとして、最初から自分が望む部署・業務に就くことは限らないという現実があります。組織の一員になる以上、与えられた仕事をこなしていく覚悟も必要です。そして、まずは与えられた部署、ポジションの中でのエキスパートを目指すべきです。それを繰り返すことにより、会社の中で本当のエキスパート、本当のプロになれるのだと思います。

グローバルな視野が必要不可欠な時代に。大学で専門分野について学ぶことは大切なことですが、私は、一般教養の重要性をもっと認識すべきだと思っています。教養は思考の基礎であり、コミュニケーションの基礎でもあるから。思考力、コミュニケーション力、社会で働く上で欠かせないものであることは言うまでもありません。

友人と少し背伸びをした議論をしてみる。就職状況は、近年でも稀にみる氷河期だと報道されています。昨年11月、九州の完全失業率は5.3%。有効求人倍率は0.47倍と、非常に厳しい状況であり、今の学生の皆さんは大変だと思います。一方で、少子高齢化が進み、医療福祉分野では慢性的に人材が不足しています。また、日々発展するIT関連分野でもソフト技術者が不足しています。失業と人材不足のいわゆるミスマッチが生まれているのです。このようなミスマッチを解消していくためには、医療福祉分野、IT関連分野などの新成長分野に適合する人材を育てる教育が必要

が、かかるものです。しかし、多少時間がかかろうとも、働く以上はそこを目指さなければいけないと思います。少し堅い話になりますが、マックス・ウェーバーは著書の「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」の中で、自分の仕事を天職と考える使命感を持って勤め、勤勉と節約を旨とする生活態度が近代資本主義の発展を支えてきたと書いています。資本家は利益を重ね、資本を拡大していくことが使命であり、雇用される側も働いて給料を得ることが社会に貢献している証であるわけです。利益を得ること、給料をもらうことは、社会に貢献する見返りだと考える。そして、頂いた給料で家族を養い、仕事面だけでなくプライベート面も豊かにして、幸せな生活を送ること。これもまた、社会で働くことの大きな目的でしょう。

グローバルな視野が必要不可欠な時代に

友人と少し背伸びをした議論をしてみる。就職状況は、近年でも稀にみる氷河期だと報道されています。昨年11月、九州の完全失業率は5.3%。有効求人倍率は0.47倍と、非常に厳しい状況であり、今の学生の皆さんは大変だと思います。一方で、少子高齢化が進み、医療福祉分野では慢性的に人材が不足しています。また、日々発展するIT関連分野でもソフト技術者が不足しています。失業と人材不足のいわゆるミスマッチが生まれているのです。このようなミスマッチを解消していくためには、医療福祉分野、IT関連分野などの新成長分野に適合する人材を育てる教育が必要



ご自身の経験を交えながら、在学生のために熱心に語っていただきました。



学校法人福岡大学 理事長 鎌田 迪貞

京都大学を卒業後、昭和33年に九州電力株式会社に入社。平成9年に同社代表取締役社長に就任、平成15年には同社代表取締役会長、平成19年からは同社相談役。その間、九州経済連合会会長を歴任し、九州財界のトップを務める。平成22年5月28日から学校法人福岡大学理事長。

「働く」ということ

九州電力株式会社の相談役でもある福岡大学の鎌田迪貞理事長に、社会人の大先輩という立場からお話いただきました。

教養は思考とコミュニケーションの基礎

給料は社会貢献の見返り

人生を生きていく中で、「働く」ということは大きな位置を占めるものです。自分の職業を天職だと思えるのが理想ですが、実際にはそうはいかないことが多いものです。私は九州電力に52年間在職していますが、最初から強い意識を持って働いていたわけではありません。入社2年目に宮崎支店延岡営業所で旭化成を担当することになり、延岡営業所の役割の大きさを認識できたことが、九州電力で働く意義を見つけるきっかけになりました。電力会社は人の生活から産業活動までを支える大切なエネルギーを扱う仕事なので、働く意義を見いだしやすい。よくその道のエキスパート・プロになれる」といわれますが、そこまでの気持ちがあるまでには誰しも時間

特集「働く」ということ

現在、学部や大学院で学んでいる皆さんは、いずれ社会へと羽ばたいていきます。今回の特集は、四部構成で、多くの人にさまざまな視点から、「働く」ということについて話したいと考えています。働くとはどういうことなのか、どんな心掛けが必要なのか、近い将来のために考えてみましょう。

中村 経済の動向はもちろん、さまざまな時事にも関心を持っています。

服部 末石さんと藤本さんのように、ある意味で社会人になってからの方が勉強が必要というのは、社会に出てみないと分からないことかも知れませんが、在学生にとっては貴重なお話です。在学中からの幅広い学びが重要だと思います。

中村 私は入社してすぐに現在の国内旅行の企画をする部署に配属になったのですが、やはり旅行の現場を知らないという気後れがありました。それに、入社してすぐの頃は想像していた以上に地味な仕事が多くて、イメージとのギャップの大きさに戸惑いもありました。ですが、先輩から「旅行商品の企画はウチの会社の花形部署。この部署に行きたい」と望んでも行けない社員も多いんですよと励まされて、頑張ろうという気なれました。

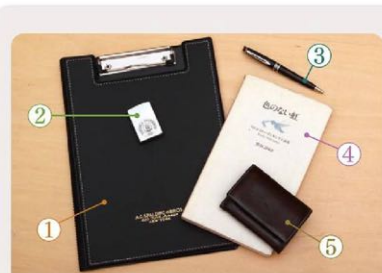
中村 私は最近異動になったばかりです。最初は営業企画という部署で、物流を通してお客さまの仕事をより便利にする、格好良く言えば、物流をデザインする仕事でした。ものもと自分が一番望んでいる仕事でできていたわけですが、今年の5月からは人事担当に異動になり、採用関係の仕事をしています。まさか自分がそのような部署に行くとは思っていませんでしたが、大卒は大半が総合職で採用されるわけですから、自分が望む仕事だけができるわけはありません。さまざまな部署を経験し、初めて総合職という人材になれると思って、今は前向きに取り組んでいます。

中村 いろいろな仕事や部署を経験するのは大切なことです。そうすることによって自分の会社の全体像が見えてくるはずですね。希望の会社に入社しても、自分が望む仕事だけができるわけではありませんが、それもまた社会で働く、ということだと思います。



木下 博貴さん 末石 美希さん 藤本 武さん

末石
私は、失敗談というより苦労話になります。が、税務署が一番忙しい確定申告でのお話をします。確定申告をした税金を納める方法として、金融機関を利用した口座振替があります。私は1年目から



社会で働く先輩たちの元気アイテム

① バインダー／末石さん

これから外回りをして、税金という大切なお金を扱うことになるので、しっかりとバインダーを使いたいと思い購入しました。

② 福大ジップライター／畠中さん

学生時代からずっと使ってきた福大ロゴ入りのジップライター。使用するたびに福岡大学を思い出します。

③ ボールペン／藤本さん

お客さまの目の前で書類を高額を書き込む機会が多いので、それにふさわしいペンを持つべきだと思い購入しました。

④ 英語の詩集／服部さん

在学中に教科書として使っていました。普段は本棚で眠っていますが、とても好きな詩があつて、落ち込んだときに読み返しています。

⑤ 名刺入れ／木下さん

妻からプレゼントされたもの。洗濯機で洗ったこともあってボロボロですが、ずっと大切に使っています。

中村
ええ、後輩のためにぜひお願いします。
畠中
先ほど、最初の入社試験に失敗したのは準備ができていなかったからと言いましたが、二番でできていなかったのは気持ちの切り替えです。「今から就職活動をするぞ」という心構えが十分だったことですから、今から就職活動をする人には、まずしっかりとした気持ちを持つてほしいと思います。
中村
周りに流されてはいけないということですね。引き続きして仕事上の失敗談をお願いします。それは数え切れないくらいありますが、特に挙げるとしたら、自分一人で仕事を抱え込んでしまったことです。私の会社は、個人から企業までお客さまの幅が広いので、小さな仕事がたくさん

藤本
先ほど、最初の入社試験に失敗したのは準備ができていなかったからと言いましたが、二番でできていなかったのは気持ちの切り替えです。「今から就職活動をするぞ」という心構えが十分だったことですから、今から就職活動をする人には、まずしっかりとした気持ちを持つてほしいと思います。
中村
周りに流されてはいけないということですね。引き続きして仕事上の失敗談をお願いします。それは数え切れないくらいありますが、特に挙げるとしたら、自分一人で仕事を抱え込んでしまったことです。私の会社は、個人から企業までお客さまの幅が広いので、小さな仕事がたくさん

木下
その口座振替事務の責任者になりました。金融機関に送付する文書もすべて私の名前で送付されます。1年目だから先輩のサポートだろうと考えていたのですが、すごいプレッシャーを感じましたが、先輩に相談しながらどうにか乗り切りました。それだけ責任のある仕事をさせてもらったとも言えますが「社会はなかなか厳しくて緊張感があるな」と感じました。これから社会に出る人には「社会人は1年目から非常に厳しい。1年目だからといって甘える環境はない」ということを伝えたいです。私も入社早々に現場を任せられたのですが相談できる先輩が居たというのはいくらもありません。私の場合はほとんど二人でやってみようという状態で2、3カ月間下水に漬かりっぱなしという仕事もありました。それでもやり遂げられたのは「見返してやる」という気持ちがあったから。それと、最近の新人社員は少し弱気で、言われたことしかしない、そんな人が多い気がします。もっと先輩を追い抜いてやるというくらいの気概を見せてくれたらいいのです。

中村
ええ、後輩のためにぜひお願いします。
畠中
先ほど、最初の入社試験に失敗したのは準備ができていなかったからと言いましたが、二番でできていなかったのは気持ちの切り替えです。「今から就職活動をするぞ」という心構えが十分だったことですから、今から就職活動をする人には、まずしっかりとした気持ちを持つてほしいと思います。
中村
周りに流されてはいけないということですね。引き続きして仕事上の失敗談をお願いします。それは数え切れないくらいありますが、特に挙げるとしたら、自分一人で仕事を抱え込んでしまったことです。私の会社は、個人から企業までお客さまの幅が広いので、小さな仕事がたくさん

末石
私は、失敗談というより苦労話になります。が、税務署が一番忙しい確定申告でのお話をします。確定申告をした税金を納める方法として、金融機関を利用した口座振替があります。私は1年目から

中村
ええ、後輩のためにぜひお願いします。
畠中
先ほど、最初の入社試験に失敗したのは準備ができていなかったからと言いましたが、二番でできていなかったのは気持ちの切り替えです。「今から就職活動をするぞ」という心構えが十分だったことですから、今から就職活動をする人には、まずしっかりとした気持ちを持つてほしいと思います。
中村
周りに流されてはいけないということですね。引き続きして仕事上の失敗談をお願いします。それは数え切れないくらいありますが、特に挙げるとしたら、自分一人で仕事を抱え込んでしまったことです。私の会社は、個人から企業までお客さまの幅が広いので、小さな仕事がたくさん

木下
その口座振替事務の責任者になりました。金融機関に送付する文書もすべて私の名前で送付されます。1年目だから先輩のサポートだろうと考えていたのですが、すごいプレッシャーを感じましたが、先輩に相談しながらどうにか乗り切りました。それだけ責任のある仕事をさせてもらったとも言えますが「社会はなかなか厳しくて緊張感があるな」と感じました。これから社会に出る人には「社会人は1年目から非常に厳しい。1年目だからといって甘える環境はない」ということを伝えたいです。私も入社早々に現場を任せられたのですが相談できる先輩が居たというのはいくらもありません。私の場合はほとんど二人でやってみようという状態で2、3カ月間下水に漬かりっぱなしという仕事もありました。それでもやり遂げられたのは「見返してやる」という気持ちがあったから。それと、最近の新人社員は少し弱気で、言われたことしかしない、そんな人が多い気がします。もっと先輩を追い抜いてやるというくらいの気概を見せてくれたらいいのです。

中村
ええ、後輩のためにぜひお願いします。
畠中
先ほど、最初の入社試験に失敗したのは準備ができていなかったからと言いましたが、二番でできていなかったのは気持ちの切り替えです。「今から就職活動をするぞ」という心構えが十分だったことですから、今から就職活動をする人には、まずしっかりとした気持ちを持つてほしいと思います。
中村
周りに流されてはいけないということですね。引き続きして仕事上の失敗談をお願いします。それは数え切れないくらいありますが、特に挙げるとしたら、自分一人で仕事を抱え込んでしまったことです。私の会社は、個人から企業までお客さまの幅が広いので、小さな仕事がたくさん

藤本
先ほど、最初の入社試験に失敗したのは準備ができていなかったからと言いましたが、二番でできていなかったのは気持ちの切り替えです。「今から就職活動をするぞ」という心構えが十分だったことですから、今から就職活動をする人には、まずしっかりとした気持ちを持つてほしいと思います。
中村
周りに流されてはいけないということですね。引き続きして仕事上の失敗談をお願いします。それは数え切れないくらいありますが、特に挙げるとしたら、自分一人で仕事を抱え込んでしまったことです。私の会社は、個人から企業までお客さまの幅が広いので、小さな仕事がたくさん

学生時代に積極性を身に付けよう

説明する機会が無い場合が多くあります。初めて会った人に自分をアピールし、しっかりと意見を伝えられることは重要な能力だと思います。最近、初対面の人に自分の意見や強みをアピールするのは、極端に言うところコンパ（懇親会）と同じじゃないかと思ったりもします。なるほど。それは面白い。服部さんの旅行にしていたようにですね。それに比べ、最近の学生は内向き志向が強くて、積極性が足りないような気がしています。
中村
例えば、どのような学生さんですか？
中村
こう聞かれたらこう答えるというマニュアルに固執するあまり、いざ「自分の意見を述べてみなさい」と言われても、自分の言葉で明確に発言できない学生が増えているように思います。末石さんの学生時代はいかがでしたか？
末石
まだ仕事を始めてから日が浅いので、現在の仕事にどれだけ役立っているのかは分かりませんが、日本語検定、数学検定、簿記検定などかなり積極的に資格の取得に挑戦していました。勉強を通して苦難に打ち勝つ力は少し養われた気がしています。



0:30	23:00	21:00	20:30	19:00	17:30	17:00	13:30	12:00	11:00	8:45	8:30	8:00	7:30	6:00
起床	自宅を出て西鉄電車で会社へ	出社・メール確認	担当現場の書類作成	移動途中で昼食	得意先と打合せ	得意先との打合せのため会社出発	会社に戻る	得意先との打合せ内容のまとめ	担当現場の書類作成	移動途中で昼食	得意先と打合せ	得意先との打合せのため会社出発	起床	自宅を出て西鉄電車で会社へ
就業	帰宅	同僚と飲みに行く	担当現場の書類作成	帰宅	同僚と飲みに行く	帰宅	同僚と飲みに行く	担当現場の書類作成	移動途中で昼食	得意先と打合せ	得意先との打合せのため会社出発	起床	自宅を出て西鉄電車で会社へ	就業



木下 博貴さん
株式会社九電工
エコ事業推進本部
環境資源事業部
設計グループ

1:00	23:00	21:30	21:00	20:00	17:00	15:00	14:30	13:30	11:00	10:00	9:30	9:10	7:30
起床	自宅を出発、バスに乗って会社へ	出社	メール、当日スケジュールの確認	旅行企画商品Aについてデザイン会社と打合せ	次期の商品プレゼン会議に向けたグループミーティング	Dホテルの担当者来社・接客	担当地区の販売動向数値の確認	他社対策の検討	旅行商品Bについて関係機関との交渉条件整備	旅行代金の見積	帰宅	好きな音楽を聴いたりDVDを鑑みてリラックス	就業
就業	帰宅	同僚と飲みに行く	担当現場の書類作成	移動途中で昼食	得意先と打合せ	得意先との打合せのため会社出発	起床	自宅を出て西鉄電車で会社へ	出社・メール確認	担当現場の書類作成	移動途中で昼食	得意先と打合せ	得意先との打合せのため会社出発



服部 玲子さん
株式会社ジェイティービー
九州管内商品事業部
企画第一課
グループリーダー

0:30	22:30	22:15	21:30	19:00	18:30	17:00	16:45	16:00	13:00	12:15	9:00	8:30	7:10	6:05	6:00
起床	朝食・ニュースのチェック	自宅を出て西鉄電車で職場へ	出勤	滞り処分	昼食	納付指導	デスクワーク	明日以降の日程調整	退勤	夕食	専門学校で簿記の勉強	専門学校での授業終了	帰宅	入浴・DVD鑑賞	就業
就業	帰宅	同僚と飲みに行く	担当現場の書類作成	移動途中で昼食	得意先と打合せ	得意先との打合せのため会社出発	起床	自宅を出て西鉄電車で会社へ	出社・メール確認	担当現場の書類作成	移動途中で昼食	得意先と打合せ	得意先との打合せのため会社出発	起床	自宅を出て西鉄電車で会社へ



末石 美希さん
福岡税務署 徴収第二部門
財務事務官(国税専門官)

0:30	19:30	19:00	18:00	17:00	16:00	15:00	13:30	12:30	11:30	11:00	10:00	8:45	8:20	7:50	6:30
起床	起床、日経新聞をチェック	自宅を出てマイカーで会社へ	出社・メール社内通達の確認	各新聞のチェック	朝礼	グループミーティングで当日スケジュール確認	A様宅訪問、事業計画などのヒアリング	会社に戻り上司への報告、パソコンに記録	B様来店、投資信託の運用状況報告	支店近くの喫茶店で昼食	C様来店、資産運用商品の提案	締り作業	D様宅訪問、住宅ローンの打合せ	終礼	お客様と翌日のアポイントメントを電話で確認
就業	帰宅	同僚と飲みに行く	担当現場の書類作成	移動途中で昼食	得意先と打合せ	得意先との打合せのため会社出発	起床	自宅を出てマイカーで会社へ	出社・メール社内通達の確認	各新聞のチェック	朝礼	グループミーティングで当日スケジュール確認	A様宅訪問、事業計画などのヒアリング	会社に戻り上司への報告、パソコンに記録	B様来店、投資信託の運用状況報告



藤本 武さん
株式会社福岡銀行
宮田支店

0:30	21:30	20:30	19:30	19:00	18:30	15:00	14:00	12:30	11:00	8:20	8:00	7:45	7:30	6:30
就業	情勢を把握	テレビのニュース番組で経済・社会	夕飯、入浴など	自宅周辺をランニング	帰宅	帰宅	帰宅	近くの飲食店で昼食	A大学様を訪問、学生の就職活動状況などをヒアリング・打合せ	B大学様を訪問、学生の就職活動状況などをヒアリング・打合せ	会社に戻り、本社からの通達事項確認、地下支店へ通達・会議資料の作成、翌日スケジュールの確認など	帰宅	自宅周辺をランニング	夕飯、入浴など
起床	自宅を出てマイカーで会社へ	出社、メール・当日スケジュールの確認	朝礼	朝のルーティンワーク	社内労働環境の報告・福利厚生に関する各課手配など	A大学様を訪問、学生の就職活動状況などをヒアリング・打合せ	近くの飲食店で昼食	B大学様を訪問、学生の就職活動状況などをヒアリング・打合せ	会社に戻り、本社からの通達事項確認、地下支店へ通達・会議資料の作成、翌日スケジュールの確認など	帰宅	自宅周辺をランニング	夕飯、入浴など	テレビのニュース番組で経済・社会情勢を把握	就業



島中 倫洋さん
ヤマト運輸株式会社
九州支社
人事採用担当

私たちのある一日

今回の座談会に参加していただいた皆さんに、ある勤務日の一日をお聞きしました。
業種や職種・キャリアによって一日の動きはさまざまですが、新聞を読む、ニュースを欠かす
チェックするなど、通常業務とは別の勉強も日常化しているようです。



在学生の皆さんに向けて熱い議論を交わしてくれた先輩たち。

中村 私は今、チームリーダーという立場で5人をまとめなければなりません。コミュニケーションの取り方の難しさを日々実感しています。入社当時は、人と話をするのが好きで、コミュニケーションには自信があったのですが、先輩や上司の話を聞いていけば良かった時代と違い、自分の意見をどう部下に伝えてまとめていくか人を引っ張っていく上でのコミュニケーションというものがとても難しさを感じています。話し方という単純な問題ではなく、どう人と向き合えばいいのか。まさに今その壁にぶつかっていて、今更ながらコミュニケーションについて勉強している最中です。

木下 コミュニケーションというのは、最終的な総合力です。大切なのは「人の話をよく聞いて話をする」ということ。その場の雰囲気や、その

服部 場はどういう人が集まっているのかといった総合的なことを判断しながら人の話を聞き、その上で自分の意見を述べる必要があります。その総合的な判断力を含めたものが、コミュニケーション力になるわけです。

中村 先輩たちからのメッセージ

藤本 最後にひと言ずつ、在学生にメッセージをお願いします。

末石 せっかくこれだけ大きな大学に居るわけですから、幅広く経験を積んで、たくさんの方人をつくってほしい。必ず社会に出てからも大切な財産になるはずです。

島中 何か一つ打ち込むものを、というのでもいいですが、逆にいろいろなことにチャレンジできるのも学生の特権です。自分がやりたいことに思い切り挑戦してください。

中村 社会に出てからも日々勉強です。私からはそのひと言です。

木下 私からは二つあります。一つは、自分の将来を考える際、これまでの自分の人生の棚卸をして、自分が秀でている部分を見つけ、しっかりと伸ばしてほしいです。もう一つは、人と話ができるというだけでなく、相手への気配り、気遣いを意識できるようにしてください。

服部 社会は就職活動以上に厳しい世界です。いろいろな壁にぶつかりますが、それを乗り越える楽しさもあります。自分を信じて、積極的に行動してください。

中村 社会で働く先輩からの率直なお話は、在学生の皆さんの学生生活を充実させるにあたって、大変有意義なと思います。本日は、ありがとうございました。

座談会を終えて

本日、参加者のお話を聞いて、社会に出て就職活動以上の厳しさを体験しながら、積極的に仕事に取り組んでいることが分かりました。今回の座談会には、在学生に「先輩のお話を通して、一生懸命学生生活を充実させて進路を決めてほしい」という気持ちで臨んだのですが、卒業生にもさらに幅広い学びを続けて、活躍していただきたいという気持ちがますます強くなりました。

在学生には、自分の価値観というものをしっかりと、知的な好奇心を持って感動することが多い日々を過ごしてほしいと願っています。

就職活動で大切なことは「基本的なことが当たり前に行えること」であって「マニアルだけを頭に入れて、最小の努力で最大の成果を得よう」ということではありません。先輩たちが社会に出てこれだけ一生懸命頑張っているのだから、在学生にはさらに自分に厳しくなっていくべきだと思います。「まだ努力が足りないのではないかと自問し、何回も考えて行動することは就職活動においても社会で働く上においても必要なことだと思います。」



中村 信博 商学部教授
就職進路支援センター長

毎号とも高い関心が寄せられている「就活日記 My チャレンジ」。今回は、各企業から内定を得て、就職活動を終えた在学生4人を紹介。就職活動を行う皆さんに、さまざまなアドバイスやメッセージをいただきました。

SUCCESS 1

その企業での自分の将来ビジョンを描こう

とても大きかった インターンシップでの経験

井上さんの就職活動は、業種を絞らず、さまざまな企業にチャレンジすることから始まりました。

「いろいろな企業を見て、面接などを経験すること、会社の理念やそこで働く方の人柄などを確認したかったというのがありました。」

就職・進路支援センター主催の自己表現対策講座「面接対策セミナー」など、就職関係の講座には毎回参加したという井上さん。

「面接対策セミナーでは、私の悪い点を的確に指摘していただきました。その後の就職活動にとても役に立ったと思います。」

「格」から、簿記検定、英語検定、秘書検定など資格取得にも積極的。

「企業の面接では、資格を持っていたことよりも、それにチャレンジしていくプロセスを評価されるが多かったです。」

井上さんの就職活動に一番大きな影響を与えたのがインターンシップでの経験。実際に企業で働き、その企業の方から「常に自分の強みと弱みを考えることが大切」と教わったと言います。



西日本旅客鉄道株式会社
経済学部経済学科
4年次生
井上 可保梨さん

3年次の10月頃から徹底的に自己分析を行いました。

面接では自分の言葉で いかに話せるかが大切

数ある企業の中で、井上さんが西日本旅客鉄道を選んだ決め手は「社風への共感」。その会社での自分の将来ビジョンが描けたことが大きかったと言います。

「面接では「駅」というお客様と接する場所での自分のコミュニケーション力を生かし、小さな力で少しでも世の中を明るくしたい」という思いを話しました。やはり、その企業に入って自分が何をしたいのか、何ができるのかを伝えることは大切だと思います。」

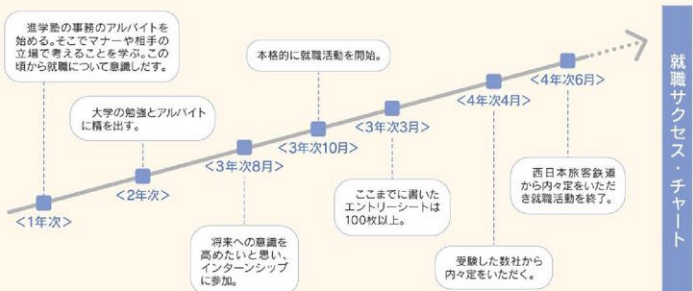
井上さんが面接でこのような話ができたのは、それまでの失敗があったからこそです。



就活グッズ
企業の面接が最も多かった時期のスケジュール帳には、隙間もないほどの書き込みが。ほぼ毎日就職活動を行っていたと言えます。

就活アドバイス 一般常識などの筆記は 復習することが大切

面接での失敗を反省することも大切ですが、意外と忘れがちなのが筆記試験の復習。何社も受けていると同じ問題が出ることもあり、後日の面接で筆記試験のことを話題にされることもあるので、復習は毎回欠かすずに取り組んでください。



SUCCESS 2

自分の個性を大切にして それを最大の武器にすること

第一志望は 印刷・広告業界だった

商業高校に通っていた時から、商品をいかに売るかということに興味があったという西村さん。本学入学時から、商品を売る仕事人になりたいと思い「CMやパッケージデザインを手掛ける印刷・広告業界に進むことを考えていた」と言います。

すぐに経営学研究部に入学し、企業研究の方法、組織論、マーケティングなどを勉強してきました。

「考えてみると、部活動そのものが就職活動だったのかもしれません。」

西村さんは、部活での勉強を通じてメディア関係にまで視野を広げて就職活動を開始。学内で数々の企業セミナーが開かれた中、日本放送協会のセミナーへの参加が運命を要しました。

「それまでは堅いイメージしかなかったのですが、NHKの殻を打ち破る人に入局してほしい」という一言にとても魅力を感じました。それから、日本放送協会のセミナーには全部参加して、そのたびに職員の方々の生き生きとした姿にどんどん惹かれていきました。

自らの夢を若い世代の意識改革と地方の活性化に貢献することと語る西村さんにとってまさに理想の職場だったそうです。



日本放送協会
商学部経営学科
4年次生
西村 龍貴さん

武器になったのは 「変」な個性と電卓検定

西村さんは、就職・進路支援センターに毎日通いつめて、センター内の書籍やOB・OGの面接資料にくまなく目を通したと言います。そこで得た知識や情報に、自分の個性を加味していくことで就職戦線を戦ってきたとのこと。

「私の個性をひと言でいえば「変」。とにかく熱心に行動するタイプの人です。面接でも、そんな個性を自分のやり方で思い切りアウトラストしてきました。」

また、商業高校時代から、簿記検定、販売士検定、漢字検定、電卓検定などの資格取得にもチャレンジ。

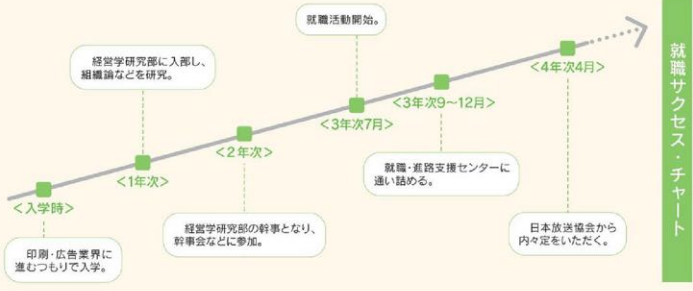
「販売士や電卓検定は面接担当の方がどんな試験があるのか」と興味を持ってくれるので、そこから話が広がることも多かったのです。



就活グッズ
就職活動中に使用していた就職ノートには、西村さんの個性でもある「変」の字が堂々と書かれている。

就活アドバイス 自分の言葉で 自分の思うことを素直に話す

周りの人からのアドバイスも大切ですが、自分を一番分かっているのは、やはり自分自身。面接ではマニュアルどおりに話しても絶対に見破られるので、まずは自分を見つめ直し、自分の言葉で、自分の思うことを素直に話すことが大切です。



就職・進路支援 センターからの お知らせ

平成24年3月卒業予定者対象
「学内個別企業セミナー」
「学内合同企業セミナー」
の案内です。

下記のとおり学内において、個別企業セミナーならびに合同企業セミナーを開催します。

学内で多くの企業情報や採用情報を入手できる絶好の機会です。

いずれの企業も本学学生の採用に積極的です。奮って参加して今後の就職活動に役立ててください。

参加企業や開催日時、会場、申し込み方法等の詳細については、就職・進路支援センターのウェブサイトで確認してください。

【個別企業セミナー】

開催日 1/31(月)～2/3(木)
参加企業数 1日8社(予定)

会場 学内教室

開催日 2/14(月)～随時
参加企業数 1日5社(予定)

会場 学内教室

【合同企業セミナー】

開催日 3/16(木)
参加企業数 120社(予定)

会場 第二記念会堂

支援行事

就職・進路支援センターでは、就職や進路支援について、いろいろな行事を開催しています。

詳しくは、ウェブサイトやFUIポータルで確認してください。

考えるよりもまず行動
相手に会わないと
何も見えてこない

就活アドバイス

資料やウェブサイトだけでは会社のことは分かりません。もし行きたい会社があるのなら、異動であったとしても説明会に参加し、実際に「生の声」を聞かないと、その会社のことは何も見えません。考えるよりもまず行動することが大切です。



就活グッズ

「書くたびに次第に自分自身のことが見えてきた」というエントリーシートと就職活動の参考にした本。

「負けず嫌いは自分の長所。同期には負けたくない」という気持ちを持って、よく学び、吸収できる、そんな社会人になりたいと、来春からの抱負を語ってくれました。



就職サクセス・チャート

よく学び、吸収できる そんな社会人になりたい

江田さんの就職活動は、すべてが順調に

進んでいったわけではありません。最初、面接の面接は、キョロキョロするばかりで、堂々と話すことができませんでした。海釣りや趣味というアウトドア派の江田さんは、面接がうまくいかないときには身体を動かすことで「気持ちをリフレッシュして、粘り強く活動していた」と言います。「何度か面接を受けてみて分かったことは、どんなに飾りたてた言葉よりも、ここで働きたい」という熱い気持ちが大切だということです。必ず相手にも気持ちは伝わると思います。小野薬品工業に決めたのは「社員の方々に、人の温かさを感じたから」という江田さん。すでに内定者懇談会に参加し「みんなの雰囲気がとても明るく、やる気に満ちあふれた人ばかりでした。」



小野薬品工業
株式会社
工学部化学システム工学科
4年次生
江田 亜由美 さん

どんなに飾りたてた言葉より
「ここで働きたい」という気持ちが大切

元気いっぱい、大学での経験を
アピールすれば、きっと伝わる
部活動と幹事長の業務で
多忙な日々

津田さんは、硬式野球部に所属すると同時に体育部常任幹事会の幹事長も務めてきました。「部活動と幹事長の両立は予想以上に大変でした。就職活動が始めたのは、3年次の12月初旬にヤードームで行われた合同会社説明会に行ってきた。スポーツ科学部の学生は、就職活動をする時期が比較的遅いので、自分もまだ大丈夫だという安心感がありました。しかし説明会に参加して、他の学生の真剣な姿を前に、焦りを感じました。」人間で話したり、企業の方との接点も多かったという幹事長の経験から「人と話す」という姿勢が高ぶる自分に気づき、その性格を生かせる営業に魅力を感じたと言います。「営業職ということを決めて、業界には特にこだわりませんでした。合同会社説明会ではメーカーからサービス業まで幅広く回りました。そんなある日、野球部のOBに就職について相談したところ、福岡大学の広報誌「FD」も手掛けているDNP西日本を勧められたと言います。印刷会社には「暗いイメージしかなかった」という津田さんですが、実際にB・O・G訪問で話を聞いてみると「仕事の幅広さに驚いた」そうです。

面接まで行けないことが とても悔しかった

面接まで行けないことがとても悔しかった。DNP西日本のほかにも、さまざまな業界を受けたそうですが、最初の頃はエントリーシートの段階で落とされることもあったという津田さん。「面接まで行けばアピールする自信はあったのに、会って話ができないのはやっぱり悔しかった。それから就職支援センターに毎日のように出向き、エントリーシート添削会にも積極的に参加。その成果もあって、DNP西日本のエントリーシートは見事通過、自信のあった面接も通過し、内定をいただいた。また、津田さんは自分の反省を踏まえて、これから就職活動をする後輩たちにぜひ伝えたいことがあると言います。『フル』面接で横に有名な大学の学生がいると、名前で負けていく感じがする。だから、弱気な自分が情けなく感じました。後輩には、そのようなことで弱気にならず、元気いっぱい



株式会社
DNP西日本
スポーツ科学部
健康運動科学科
4年次生
津田 悠介 さん

就職活動のスタートは
早ければ早いほど良い

就活アドバイス

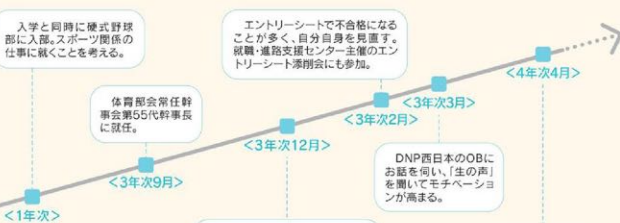
全学部の学生に共通して言えることですが、就職活動はできるだけ早くスタートを切ることが大切。早ければ早いほど、多くの企業の採用試験を受験できます。就職活動を通して自分自身の長所、短所に気づき、次の活動に生かすことができます。



就活グッズ

就職・進路支援センターが発行する「就職活動体験記」。「先輩の活動がよく分かり、自分自身にも生かせることが多くあった」と言います。

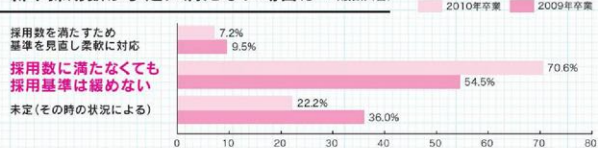
自分が本気でやってきたことを伝えれば、企業側はきいて受け止めてくれます。この「人とのつながりを大切に」する営業マンになりたという津田さん。いつかは、福岡大学の仕事をしたいと話してくれました。



就職サクセス・チャート

(資料) 就職マクロ環境 - 企業の採用数へのスタンス -

新卒採用数が予定に満たない場合は? (複数回答)



企業の採用スタンスは「量より質」

出所/就職ジャーナル版「就職白書」 リクルート

一方で、本社で採用する人をあてて地方の大学から採用という動きもありま。就職活動のテクニックにおおられてしまっている学生は、企業からは魅力的に見えないのですが、都市部に多く見られるような学生よりも、地方で地元のいろいろな活動に励み、就職活動一辺倒ではない学生の方が、企業にとっては魅力的な場合があります。1年次は全寮制で授業はすべて英語で行うという大学が秋田県にありますが、そのような大学が企業に注目されています。

✓ 内定がゴールではない

企業は学生に対して厳しく見る目をもちながらも、求める人材要件が可視化されていないので、地方の採用を強化したり、特徴のある地方大学にフォーカスしてみたり、いろいろな努力を重ねているようです。先ほどの外国人採用の流れもその一つです。新卒者に対しての門戸は開かれています。企業側には現場でじっくり若手を育てる余裕が無いので、即戦力化しやすい人を見抜くか、大きな流れになってきています。

✓ 新しい価値を創造できる力を

では、就職活動に臨むために、どのような大学生活を送るべきか。それは当たり前ですが、しっかりと勉強することです。授業で知識や教養を身に付けるのはもちろんですが、「自分で考える力」を身に付けることが大切です。大学でもそのような機会がたくさん設定されているはずなので、十分に活用すべきです。OB・OG訪問でどうしたらこの会社に入れるか」という視点で話を聞いても、企業の本質は見抜けません。そうではなく、「仕事ですれば、その努力をしてくれるか」を聞くことで、仕事への視点や考え方を学ぶことができます。OB・OG訪問ができなくても、大学生の周りには働く大人がたくさんいます。教職員もそうですし、外部の講師もそう。そのような人々と少しだけでもコミュニケーションをとるだけで世界は広がります。ぜひ実践してほしいと思います。

これはとても難しいことですが、採用する企業と対等な姿勢で臨むことも大切です。「会社に入れてください」という姿勢だけでは、魅力的には見えません。「私は社会で活躍する覚悟があります。」

別の厳しさも生まれてきています。それは、企業を取り巻く環境や事業戦略の変化のスピードに学生の就職に対する意識が追いついていないこと。簡単に言えば、企業の採用に対する見方がとても厳しくなっているということです。「良い人がいれば採りたい」という考え方に変わりはなく、良い人でも「良い人」のスペック、タイプ共に厳しくなっているのが現状です。別の言い方をすれば、企業の採用としても保守的になっていくわけですね。採用で失敗しないために、面接の回数を増やしたり、面接する担当者を増やしたりといった動きはそのためです。

株式会社リクルート
リクナビ編集長

岡崎 仁美さん

Profile

1971年香川県生まれ、1993年京都大学を卒業し、株式会社リクルートに入社。以来一貫して人材採用に関する営業および編集企画に従事。「ビーイング」副編集長、「リクナビNEXT」編集長を歴任し2008年11月より現職。



就職活動は、相手の視点に立つためのトレーニング

日本経済が厳しい状況にある中、企業は採用をどのように考えているのか。そして、大学生は在学中に何をすべきなのか。長年にわたり就職情報の仕事に従事され、現在、全国の大学生の多くが参考にしている就職サイト「リクナビ」の編集長・岡崎仁美さんに昨今の就職事情についてお尋ねしました。

✓ 企業は「新卒採用回帰」

これだけ先が見えない経済状況にもかかわらず、実は企業は新卒採用回帰の傾向にあると言えます。弊社の調査によると、中途採用ではなく新卒採用を中心に考えるという企業が70%以上もありました。これは90年代のバブル経済崩壊後の調査よりも高い数字です。そのような回答をした企業は、今の経済状況や会社の業績とは別に、中長期的な視野で採用を考えている傾向があります。その背景には、従業員の年齢構成のひずみを解消したいという考えもあるようです。新卒採用回帰の動きは、大学生にとってももちろんプラスとなるわけですが、

✓ 地方での採用事情

見る目が厳しくなってきたのは、都市部でも地方でも変わりはありません。ただ、若者の地元志向が強まってきた、配属地によってはすぐに辞めてしまふという動きがあること、また、地元経済界の中で即戦力として活躍してもらうためには、地元の人脈が生きてくるという考え方が、地元採用が見直されているのは事実です。

column 岡崎さんが考える、福岡大学

総合大学である福岡大学のメリットとデメリットを挙げてみます。それらを意識しながら、一日一日の学生生活を大切に過ごしてください。

メリット

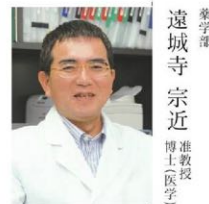
学生が多いことで切磋琢磨ができること。留学生も多く、同世代の学生らと触れ合うことで人としての多様性が育成できること。OB・OGのネットワークが広いというのは、掛け替えのない大きな利点と言えるでしょう。

デメリット

情報量が多く、何もしていないのに不安感につながりやすいこと。学生数が多いため「友達もまだ活動していないから大丈夫」といった危機感の希薄さが生まれやすいかもしれません。

おいしく、楽しく食べることの喜び。

学生にとって日常の大切な行為である「食」について、さまざまな角度から紹介してきたこのシリーズも最終回。薬学部で臨床薬物治療学、医療薬学を教え、肝臓病専門の博士でもある遠城寺宗近先生に、食の楽しみ方と脂肪肝についてお聞きしました。



薬学部 遠城寺 宗近 准教授
博士(医学)

「食」に感謝をするということ

「食」を考えるにあたって、まず大切なことは「食事ができること自体が幸せである」と認識することです。世界には十分な食事ができない国や地域がある中で、生活の基本である適切な食習慣を維持できている日本は、本当に恵まれています。

また、日本には各地域ごとにさまざまな食材が揃っています。それを知り、自分の手で料理を作ること、よりおいしく食べることで、それは幸せです。そして、もう一つ大切なことは楽しく食べる。最近の若い人は、一人で食事をすることが多く、どうしても自分が好きなものしか食べなくなるので、栄養面で偏りがちです。また、簡単に済ませてしまおうとして早食いになってしまっている、それも身体によくありません。できるだけ友人や家族と一緒に食事を摂るようにして、リラックスしながら、ゆとりと食べることをお勧めします。みんなで楽しく食べることで、栄養の吸収代謝の効率は大きく違ってきます。

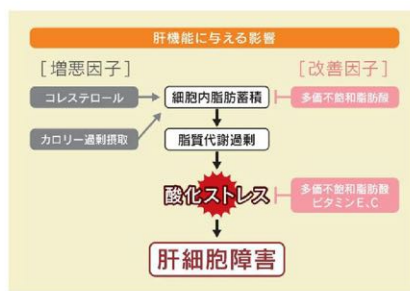
今から気を付けたい脂肪肝

ここで私の専門の中から、肝臓に脂肪が蓄積する脂肪肝についてお話します。肝臓に多少の脂肪があるのは普通ですが、この脂肪が増え過ぎることによって、肝機能の働きが悪くなり、それが肝硬変や肝がんへとつながっていく恐れがあります。脂肪肝は、食べ過ぎやカロリー、脂質の過剰摂取が主な原因で、背景には肥満、メタボリック症候群、糖尿病予備軍という症状が見られます。

また、肥満とはいえない人でも脂肪肝である場合があります。この場合は、カロリーの過剰摂取よりもコレステロールの摂り過ぎが原因という可能性が高いようです。肥満でなくても、卵、魚卵、レバー、洋菓子などをたくさん食べている人は、脂肪肝になる危険性が高いといえるでしょう。

大学生の時期は、どうしてもカロリーを過剰に摂取しがちです。特に炭水化物の摂り過ぎが見受けられます。それに加えて、飲酒ができる年齢にもなり、脂肪肝への道が始まる時期です。若い間は、多少飲酒をしても肝機能は悪くなりませんし、そもそも肝機能障害はなかなか表に出てきません。ですが、飲酒の慢性的な継続は脂肪肝の要因です。学生の中にも「隠れ脂肪肝」の人がいるかもしれません。

若い間の脂肪の蓄積に気を付けて、おいしく楽しい食事を心掛けてください。



脂肪肝を防止・改善する食べ物

脂肪肝となる原因の一つに多価不飽和脂肪酸の不足があると考えられます。ある種の多価不飽和脂肪酸は、肝細胞内の中性脂肪を減少させる働きを持っています。また、抗酸化作用によって肝機能を改善するビタミンEの摂取も効果的です。そこで、脂肪肝を防止・改善する食べ物をピックアップしました。

青魚

アジ、ワシ、サバなどの青魚の脂には多価不飽和脂肪酸が豊富に含まれています。時代の流れとともに若い人が魚を食べない傾向が強いですが、特にアジ、ワシ、サバは手軽に食べることができ、さき身ですでに加熱調理して食べることができます。

ナッツ類、緑黄色野菜

ナッツ類とβカロテンの多い緑黄色野菜にはビタミンEが多く含まれています。ただし、ナッツは食べ過ぎるとカロリーが摂り過ぎになるので、適量に抑えてください。

納豆

ビタミンEを多く含む、多価不飽和脂肪酸も豊富な納豆。腸内環境を整える効果も期待できます。



知っていますか？

知っているようで、実は知らないさまざまなトピックを取り上げて解説

「フットケア」

ここ数年、足が人の健康にもたらす影響を考える「フットケア」が注目されています。医学の分野でも、足は一つの臓器という考え方が浸透しています。今回は、医学部で心臓血管外科が専門の竹内一馬先生に「フットケア」について分かりやすく教えてもらいました。

正しい歩き方をしないと足の血流が悪くなる

「フットケアが大切」といわれるようになった背景には、医学の進歩による長寿化があります。心筋梗塞や脳梗塞になってもリハビリ治療で延命できるようになりましたが、それは老化した血管に何らかの手を打っている状態。動脈硬化自体は確実に進行し、足の血管はホリホリになっていく。その結果、足の血流が悪くなり、足が冷たくなる。また、足は目から遠く離れたため、毎日自分の足を観察するようになっても、手や顔ほど気づかないことが多いのです。

足は心臓から遠い所にあります。心臓から送り出される血液が足先まで行くのは重力があるので大変です。その逆は重力が逆らうので大変になります。実は、足先から心臓まで血液を運ぶ助けをしているのは、ふくらはぎの筋肉なのです。かかとから地面に着いて、足のつま先で地面を蹴るという正しい歩き方をすることで、ふくらはぎの筋肉が動き、足の血流を良くしているのです。つまり、正しい歩き方ができなければ血流が悪くなるということです。毛布などを足の下に置き、高い位置に立てると楽になるのは、足から心臓に向かう血流が良くなるからです。足の動脈が閉塞している場合を除く。

足のむくみも足の血流が大きく関係しています。ヒールを履いて仕事をすると、販売員やOLの方は、指の付け根部分だけで歩くので、ふくらはぎの動きが鈍くなり、血流が悪くなり、足がむくみます。そのような人は、ドレープス・トアなどで売っている加圧ストッキング

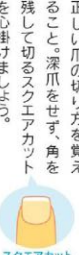
を利用すると、血流を助けてくれるのでかなり楽になります。

靴を履くだけで肩凝りが治る

足のトラブルの一つに「巻き爪」があります。元来、爪は内側に丸まろうとする性質があり、特に親指はその性質が強いのです。巻き爪になると、肉に食い込み、痛みが生じて歩き方にも影響を及ぼします。通常は、歩くことによる体重で足の親指に圧がかかり、巻き爪になるのを防いでいます。ところが、ヒールばかり履いていると、親指に体重がかかりつらくなり、巻き爪になりやすくなります。



巻き爪を予防するには、まず正しい爪の切り方を覚えることが大切です。爪を深爪をせず、角を残して切るスクエアカットを心がけましょう。



スクエアカット

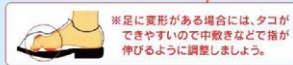
早分かりコラム 竹内先生からのワンポイントアドバイス

靴の選び方・履き方

若い頃は柔軟性があるので、靴に自分の足を合わせることができ。しかし、年齢を重ねていくと足の骨をつないでいる靭帯の柔軟性が損なわれ、靴に合わせることができなくなります。若い頃に無理して足を痛めつけていると、ある程度の年齢になったときに外反母趾が進んでしまいます。つまり、若い時から正しい靴の選び方、履き方を身に付けておくことが大切なのです。

靴選びの注意点

- ① 足の甲が圧迫されない
- ② 足の指先が締め付けられない(指が自由に動かせ)
- ③ つま先が当たらない(人差し指一本分の余裕)
- ④ かかとと踵の間に小指が入る程度
- ⑤ ヒールが高過ぎない
- ⑥ 靴底が薄く、クッションが良い(靴底がやわらかすぎない)



※足に隙間がある場合には、タコがでやすいため中敷きなどで指が伸びるように調整しましょう。

靴選びのポイント

- ▶ 足の形に合っている
- ▶ 靴ひもがマジックテープのもの
- ▶ 柔らかく、通気性が高い
- ▶ 靴の中に縫い目が無い

また、スニーカーの場合、かかと部分を踏んで履いたり、靴ひもを緩めて履いたり、足のサイズに合わない大きな靴を履いたりすると、正しい歩き方の妨げになりますので、体調を崩す原因にもなります。健康ブームで、大塚公園などでランニングをしている人も多いようですが、足に合わないシューズでランニングをするのは、かえって身体に悪いということを覚えておいてください。



先生から一言

福岡大学医学部 竹内 一馬 講師

就職活動が始まると、履き慣れない靴を履いて歩き回る機会が多くなります。特に女性にはヒールなど、つま先が狭くかかとが高い靴を履くことが多いです。荷物になって大変かもしれませんが、そのような靴は面接のときにだけ履いて、それ以外は、かかとが低い移動用の靴を履くことをお勧めします。

ソフトテニス部



情熱メッセージ

どんなに練習量が多くても、37人の部員全員が元気でいることが部の強み。その強みをずっと継続させていきたいです。また、技術面だけでなく社会人になるための勉強の場として、「時間に厳しく」という伝統も守っています。

幹事：長谷川 了太さん(スポーツ科学部健康運動科学科 3年次生)

情熱メッセージ

みんな楽しんでくやっていますが、必要最低限の上下関係は大切にしています。「もっと上達したい」という部員の意欲を大切にしながら、個人個人が活動を通して「人間としても羽ばたいていける部」でありたいと思います。

主将：亀田 翔太さん(工学部電子情報工学科 3年次生)

航空部



風を切る音だけで
大空を駆ける
雄大な景色を眼下に見る
「鳥体験」に惹かれて

航空部は、主な活動として九重や白川でグライダー飛行を行います。全国大会も合わせれば、年に四回の大会で飛行テクニックを磨きます。主将の亀田翔太さんは「エンジンが無いので、聞こえるのは風を切る音と時折入る無線の声だけ。高度300メートルで、鳥と同じ目線で飛ぶことができます。まさに鳥肌ものです」と、その魅力を力説。学内では月に一度週末を利用して行う合宿の準備やフライングの勉強を行っているとのこと。

「飛行練習は大掛かりですので、他大学の航空部と合同で行います」と亀田さん。学外の友人が多くできる点も大きな特長といえるサークルです。



▲秋の全九州支部大会で華麗に空を駆ける福岡大学専用機「雪星」。九重にはもう一機「おとし」を所有します。



▲20人の部員は、体験搭乗会でグライダーのとりこになった人ばかり。中には、「高所恐怖症ですけど、飛ぶのは最高」と語る人も。

男女とも

どこにも負けない練習量で
トップクラスを走り続け
再び全国優勝を

「つい最近まで一日も休みが無かったです」と語る幹事の長谷川了太さん。今は週に一日だけは休みとなったものの、夏期と冬期のわずかな休みと試験期間以外は、ひたすら練習。年に一度行われる一週間の合宿でも、練習漬けの毎日だと言います。常に全国のトップクラスを維持するためには、それだけの練習が必要なのです。

「練習中の上下関係は厳しいですが、いつたんコートを出ると皆仲が良いです。だからこそ厳しい練習にもついていけるのだと思います」と主将の上村翔太さんは語ってくれました。

男女とも、団体戦で好成績を挙げ続けている要因は、きつとそのようなチームワークにあるのでしょうか。



▲幹事の長谷川 了太さん(左)と主将の上村翔太さん。

男子は今年の夏の全九州学生春季リーグ戦大会で団体優勝、女子は同大会で2位。「明るく元気に、そして強く」を常に尊厳して、さらに上位を目指します。





「豊かな人間性」
へのステップ

福大生ステップアッププログラムの一環である「学生チャレンジプロジェクト」。学生の皆さんが自主的で自由な発想から企画した独自のプロジェクトを福岡大学が物心両面で支援する制度です。第6回目となる2010年度は昨年5月に3つのプロジェクトが採択され、活動しています。各々の活動内容について、プロジェクトの代表者に聞きました。

東アジアへ向けた福岡マップ ー観光から日中韓友好を深めるー

中国人や韓国人観光客向けに、既存のパンフレットにはない、福岡市天神地区の食べ物や買い物に重点を置いた観光マップを作る。



【代表者】里森 麻美さん
人文学部東アジア地域言語学科 3年次生

以前からアジアに大きな興味を持っていた里森麻美さんは、アジアフオーカス福岡映画祭をはじめ、さまざまなアジア関連イベントの手伝いを経験して、「自分で何か作りたい」と思うようになった。今回のマップ制作を思い立ちました。

まず始めに、旅行者のニーズを知るため、夏休みを利用して福岡空港と博多港でのアンケート活動を行いました。「ツアーでの旅行者は、活動そのものを受け入れてくださ

広げよう情報保障の和！ 分かち合おう共に学ぶ喜び！！

聴覚障がい者の耳の代わりとなり、話し手の言葉やその場の音情報を忠実に聞き取り、遅れずに筆記していく「ノートテイク」を学内に普及させる。



【代表者】西脇 拓也さん
理学部応用数学科 3年次生

聴覚障がい者に情報を伝える手段としては、手話がよく知られていますが、ノートテイクはその筆記版といえるものです。聴覚障がい者の左右に2人が付き、一定時間で交代しながら講義内容を書き留めていきます。

「ノートテイクは、音の情報をリアルタイムに文字に置き換えて、障がい者の方の知る権利を保障するもの。手話に比べて簡単そうだと思う方が多いですが、障がい者の方の理解度を左右するという大きな責任がある

箱プロジェクト

学生同士が交流できる空間づくりを目的に学内に「立方体」を設置。このプロジェクトを通じて空間の有効活用を考え、実行する。



【代表者】渡邊 愛弓さん
工学部建築学科 3年次生

夏休みが明けた頃からキャンパス内に出現した立方体の箱。ベンチ代わりに腰掛けた人も多そうですが、これが渡邊愛弓さんを代表とする箱プロジェクトの「仕事」。

「キャンパスの空間をもっと有効活用できないかと考えたこと、文系に比べて理系エリアに休憩できる空間が少なかったこと、キャンパスの高低差が多く、休憩できる場所を作りたいなことなど、思いついたきっかけはいろいろあります」と語る渡邊さん。

る方が少なかつた」と里森さん。それでも地道に活動した結果、約500人の方にお答えいただいたそうです。アジアからの旅行者が知りたいのは日本文化。うどん、お好み焼きなど、手軽な日本料理を楽しめる飲食店をピックアップするとともに、福岡の魅力をメンバー全員で話し合い、「都会でありながら、海や山に近い」という部分をアピールすることに。メンバーで分担しながら、慣れない取材活動を始めたものの、さまざまな壁にぶつかることも少なくありませんでした。

「個人の店舗では言葉の問題から中国や韓国の人に来てもらうことが困難」とおっしゃる方もいましたが、福岡はアジアの玄関口といわれますが、個人店舗での受け入れ体制はまだ不十分と感じています。何とか、私たちの活動でそのようなお店が少しでも変わってくれたらという気持ちで頑張っています。

マップ制作にあたっては、メンバー同士で意見のぶつかり合いも多かったそうです。が、そのおかげで、みんなと本音で語り合えるようになり、友人や仲間の大切さを実感できました」と語る里森さん。実感できた友情の大切さを、中国や韓国にまで広げてほしいと思います。



活動のスタートはアジアからの旅行者を対象にしたアンケートでした。



メンバー同士で紙面構成を議論。繰り返し行ううちに本音で語り合えるようになりました。



情報を漏らすことなく、分かりやすく筆記していくのは大変な作業です。



障がい者の方の両脇に座って2人1組でノートテイクを行います。



夏休みの期間中ずっと続いた製作作業。



七隈駅ではキャンパス内で大活躍しました。



学生のほか、地域の方々も明石氏の話に熱心に耳を傾けました。



講演後は、学生の代表から明石氏に花束が贈られました。



真剣な表情で講演を聴く学生。



講演会に参加した 在学生の声



濱本 賢哉さん

人文学部教育・臨床心理学科
3年次生

今日のお話の中では「知的な道草」という言葉がとても印象に残りました。自分ではリスクを避けたいという気持ちは無かったのですが、自分自身を豊かにするためにも、うまく「知的な道草」をしようと思います。



中嶋 真友子さん

医学部看護学科 4年次生

ずっと英語の勉強をしていますが、恥ずかしさが先に立ってほとんど話せませんでした。今日のお話でずいぶん気が楽になり、これからは、うまく話そうと思わずに、「何を伝えたいのか」という気持ちを大切にしながら積極的に話していこうと思います。

国際社会で働くなら「グッドリスナー」となれ

私はよく人から「国際社会での交渉能力」について質問されます。外国との間ではタフな交渉になることが多いのは確かですが、国際的な話し合いでは交渉のための何らかの能力よりも、人の話

お国なまりのある英語で

国際社会で働くには、語学力が必要です。特に英語は国際社会で活動する際の道具であり、手段です。必要不可欠なもの。しかし、日本人はどうしてもネーティブな英語を話そう話そうとしがちです。しかし、世界で使われている

英語は、現実としてほとんどがなまりのある英語です。例えば、国連の会議で一番大切なのは、会場の廊下やカクテルパーティで交わされるちょっとしたひと言ですが、そこで話される英語もお国なまりの英語ばかりです。

グローバル化、自己アイデンティティの時代だからこそ、お国なまりのある英語、日本なまりのある英語で良いのです。内容の無いことを流暢な英語で話すより、多少つたなくても内容のあることを話した方が、相手には絶対に伝わりやすいです。

質疑応答 Pick UP



Q グローバル化した社会を一つの世界と考えるとはいっても、開発途上国と先進国との格差があるのは事実。そのような格差とどのように向き合っていけばいいのですか？

A 同じ開発途上国でもアジアの国々はまだ発展していますが、アフリカにはまだまだ貧しい国がたくさんあります。国連は2015年までに、そのような貧しい国を半減させようとしています。日本は低成長に苦しんでいます。援助の目標はしっかりと持っています。経済的援助だけでなく、例えば、「魚の捕り方」を伝えるといった技術的支援を行うことも日本の役割でしょう。このような自国の役割をきちんと認識することが、格差と向き合う一つの方法だと言えます。

日本の活力を保つための四つの方策

日本は今、少子高齢化という問題を抱えています。今のスピードで人口が減少すると、国としての活力を失うことになるでしょう。それを打開するには四つの方策が必要です。まず一つ目は「女性の地位向上やさらなる社会進出」、二つ目に「若者が夢や希望を持って、働ける社会の確立」、三つ目は「労働意欲のある高齢者が働くことができる環境整備」、そして最後に、日本経済を潤わせるスキルを持った外国人の移民を受け入れる「育成型移民政策の実行」です。

天職を見つけるためには「知的な道草」が必要

最近の企業の採用事情を見てみると、4年間できちんと卒業した学生の採用を優先する傾向があります。しかし、私は留学して力を付けた学生を採用した方が企業のためになると思うのです。1〜2年間は外国で生活をし、さまざまな経験を積むことが、将来の大きな跳躍力に結び付きます。今の大学生はバブル期の経験がなく、元気がない日本経済しか知らない世代です。外国に行つて時間的リスクを負うようなことを敬遠するのは仕方がないのかもしれませんが、

「国際社会で働くということ」

演題

「豊かな人間性」へのステップ

－第8回－ 今を生きる 教養講演会

9月29日(水)、元国連事務次長の明石康氏を本学にお迎えし、第8回「今を生きる教養講演会」を開催しました。

会場となったA棟AB01教室には約500人もの参加がありました。

当日の明石氏のご講演から、いくつか柱となるお話を紹介します。

講師Profile

元国連事務次長 明石 康氏

学歴

東京大学 教養学部教養学科 卒業
ヴァージニア大学大学院 修了(フルブライト奨学生として)

職歴

昭和32年 2月	国連入り(日本人初) 事務局政治安保処理局、特別政治問題担当事務次長室、事務総長官房で勤務
昭和49年	国連 日本政府代表部 参事官、公使、大使を歴任
平成 4年 1月	国連 事務総長特別代表(カンボジア暫定統治機構)
平成 6年 1月	国連 事務総長特別代表(旧ユーゴスラビア担当)
平成 7年 11月	国連 事務総長特別顧問
平成 8年 3月	国連 人道問題担当事務次長
平成 9年 12月	国連 退官
平成10年 4月	広島平和研究所 初代所長(平成11年2月まで)
現在	スリランカ平和構築及び復旧・復興担当日本政府代表、(財)国際文化会館理事長、日本紛争予防センター会長 など



海外の学会などに出席したときのパス。「大学の授業があるので、海外に行くのも夏休みなどに限られてしまいます」。



今の研究者・教授という立場は「誰もか持っている忍耐力と、たくさんの人に恵まれたおかげと先生は言います」。



香野先生のゼミ生・研究生たちと。授業中は、できるだけ学生に発表させ、自分で考える力を付けさせるよう心掛けているとか。

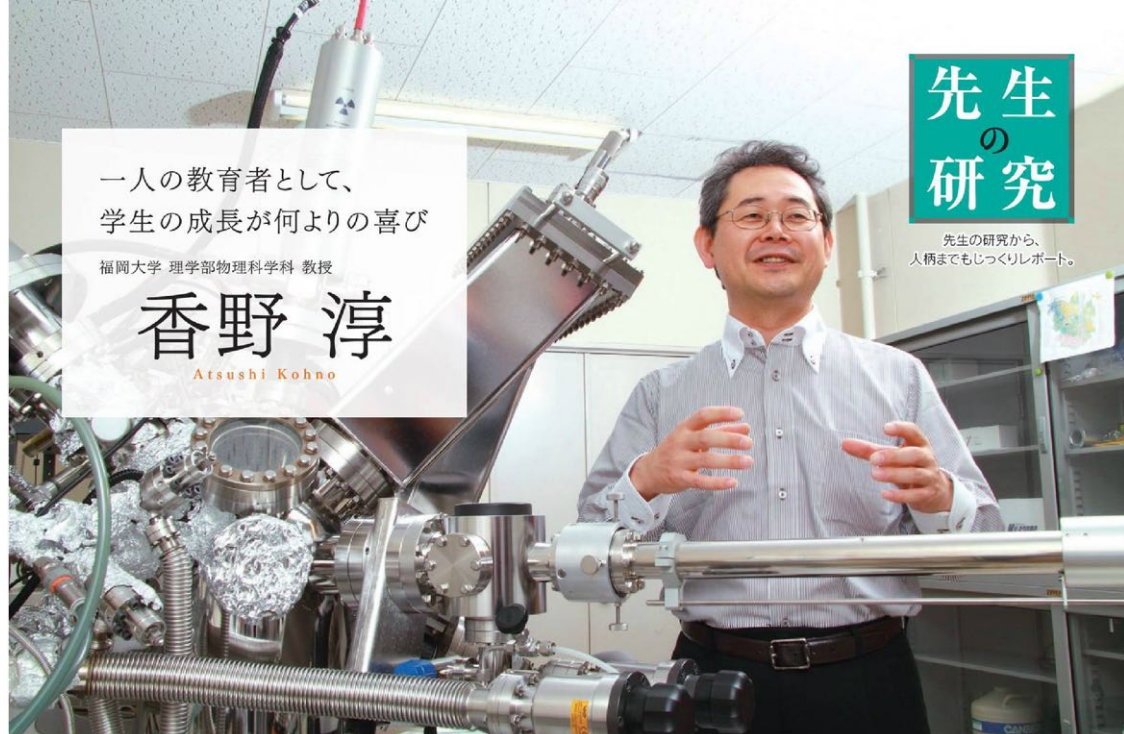


一人の教育者として、
学生の成長が何よりの喜び

福岡大学 理学部物理学科 教授

香野 淳

Atsushi Kohno



先生の
研究

先生の研究から、
人柄までもじっくりレポート。

ナノテクノロジー

「ナノスケールの世界の現象を科学し、応用する」

物理学の基礎と応用の両面から
ナノ薄膜・ナノ粒子を研究

「ナノメートル」という単位を知っていますか？ ナノメートルは、1メートルの10億分の1。香野先生の研究は、そんなナノの世界で展開しています。「私が行っているのは、厚さは数十ナノメートルのナノ薄膜、数から数十ナノメートルのナノ粒子を作る研究。手で触ることのできるマクロサイズでは起きない現象が、ナノサイズまで小さくすると起きることがあります。その現象が、どのようにして起こり、どのような機能を生むのかを物理学的に研究しています。またその機能は、コンピュータなどの最先端機器の中に応用できる可能性があり、学術的観点からだけではなく、技術の応用的な側面も含めて研究をしています」。

具体的には、USBメモリのような記憶メディアや、より高速で読み出し、書き込みのできる不揮発性メモリなどに応用される材料が対象。「パソコンを立ち上げると、使える状態になるまで少し時間がかかりますよね。それは、ハードディスクからデータを呼び込んで、それをメインのメモリに置くまで、時間が必要だからなんです。電源を切ると、メインのメモリ部分に置かれたデータは何も残らないので、毎回立ち上げごとに時間がかかっています。そこで、電源を切っても記憶がくならないメモリーの材料の候補として、強誘電体薄膜、磁性ナノ粒子、半導体ナノドットなどの研究を行っています」。

本格的に実用化されれば、立ち上がりも動作も速く、ハードディスクを必要としない軽量パソコンが実現可能とのこと。消費電力も抑えられるので、地球環境にも優しいものになると言います。

最高に幸せだった
アメリカでの研究生活

香野先生は、九州大学の理学部物理学科から修士課程を経て、ソニーの研究所に就職しました。液晶ディスプレイに活用される薄膜トランジスタをいかに低温で作るかを研究し、そこで初めて素子工学の面白さを知ることになりました。

「当時のプロジェクトリーダーだった飯島俊之先生（現・東京農工大学教授）から、研究の刺激を受けることをたくさん学んだおかげで、物理学の基礎とその応用の両方を意識することなく研究できるようになりました」。

プロジェクトグループは、当時としては世界最高のトランジスタを作ること成功。しかし、グループは解散することになります。先生はこれからどうするか悩んだ末、周りからのアドバイスもあって、再び九州大学の博士課程で研究を開始。その後、広島大学工学部・広島全学先生の研究室の助手としてナノ粒子の研究を始めます。

「広島大学で助手として研究に没頭していました。が、研究者としてステップアップするために、福岡大学へのポストに応募し、幸いにもここにきて、思いがけず、研究当初は、研究機材もほとんどなかったのに、週末になると広島大学に通って研究を2年ほど続けました」。

福岡大学で始めた研究に関して成果



が出始めたのは、着任後3年目くらいからです。2007年からは、在外研究員として1年間ハーバード大学でバルスレーザールーティング法の研究に参加しました。「毎日、研究に没頭。純粋に研究のことだけを考えられる日々は、研究者としてとても幸せでした」。

ハーバード大学から戻った香野先生は、さらに新しい研究にもチャレンジしているそうです。「もともと物質が持っている性質に、それまで無かった性質を付与する研究です。例えば、シリコンに磁性を付与することで、これまでになく新しい記憶メディアが生まれる可能性があります。また、太陽電池のように光を電気に変える機能を物質に与えるのではないかと考えています」。

まるでSF小説のような発想ですが、それを現実のものにしていくのが研究者としての使命。香野先生は、その使命を常に前向きにとらえています。これらはまだ仮説の段階であつて、できるかどうかとも分りません。ですが、研究は失敗が当たり前。アイデアに科学的な根拠があれば、失敗を恐れずに挑戦してみるだけ。研究に必要なものは、失敗にめげない忍耐力です」。

学生を教育しながら、自分も教育してもらっている

大好きな研究の話をする香野先生は、とても熱心な教育者でもあります。「もともと人に教えるのは嫌いではなかったのですが、学生に何かを教えることは、自分自身がどこまで分かっているかを確認する場でもあります。学生を教育しながら、自分自身が教育してもらっているという感覚です」。

大学は人としての総合力を磨く場所

COLUMN
総論
そう

研究者に限らず、大学を卒業して社会に出ていく人には、人間力が求められます。社会で仕事をするということは、絶対に人とかがかわるということ。相手への思いやりや心遣いが必要で、人としての総合力が問われます。大学では、学部・学科の学び以外にも、本や新聞をしっかり読んで幅広い教養を身に付けてほしいと思います。（香野 淳）

一人前の社会人・研究者・技術者に成長した教員たちは、いつしか香野先生のライバルとなり、一緒に研究を進める仲間となるでしょう。「そういうことが本当に楽しみです」。

研究者としても、教育者としても、充実した日々を送る香野先生。これからも、自分自身を磨く力を持った優秀な人材を数多く輩出していくことでしょう。

四代目の杜氏として 少しでも成長していきたい



杜氏になるつもりはなく 卒業後は自動車部品メーカーに就職

株式会社杜の蔵は、日本酒「杜の蔵」
「独楽蔵」、酒粕焼酎「吟香露」などを製
造している久留米市三瀬町の酒蔵。末永
さんは、ここで日本酒作りのチームリー
ダーである杜氏を務めています。実は、
末永さんの曾祖父、祖父、父もこの酒蔵
で杜氏を務めてきました。現在の経営者
である森永和男さんも四代目で、経営者
と杜氏がそろって代々続いている酒蔵は
全国でも珍しいとか。

「酒造りのことは頭になりましたが、
株主会社杜の蔵は、日本酒「杜の蔵」
「独楽蔵」、酒粕焼酎「吟香露」などを製
造している久留米市三瀬町の酒蔵。末永
さんは、ここで日本酒作りのチームリー
ダーである杜氏を務めています。実は、
末永さんの曾祖父、祖父、父もこの酒蔵
で杜氏を務めてきました。現在の経営者
である森永和男さんも四代目で、経営者
と杜氏がそろって代々続いている酒蔵は
全国でも珍しいとか。」

本日は杜氏になるつもりはありません
でした。」
末永さんの話は、そんな意外なひと言
から始まりました。
「自分なりに自分の道を走ろうと思っ
て福岡大学に入学し、化学の反応工学の
ゼミで勉強していました。そのことに対し
て三代目の父親は、何も言いませんでした。
無理やり杜氏にさせても嫌がるだけ
だと思っていたのだと思います。」
大学時代は「田舎育ちであまり遊ばずと

株式会社 杜の蔵
清酒杜氏
末永 雅信 さん
工学部化学工学科(現:化学システム工学科)
1992年卒業



杜の蔵総務係長の末次史朗さん(右)と、自慢作「純米吟醸・独楽蔵」を手に。

運られました。ですが、一番の理由は私自身に三瀬町に帰りたいという強い思いがあったから。何より生まれ育った地元が大好きだったからです。」
しかし、杜氏は、父である三代目の利幸さんが「10年やっつて少し分かる程度」と話すほど、経験がものをいう世界。ゼロからスタートした末永さんは周りのベテランさんたちに助けられながら杜氏としてようやく5年目を迎えます。
「まだまだ、全体を通して見るところまでは到達できていません。現在は、麹もろみという工程に重点を置いて造り込みを行っています。また、杜氏の仕事の中には帳簿を付ける仕事があります。日本酒の販売には酒税がかかるので、帳簿付けは大切なことです。帳簿を付けることにより酒造りの流れが見えてくるという利点もあります。とにかく1年1年がとて早く感じられます。杜氏としての感性を身に付けるにはやはり経験しかないと思います。」
杜氏になる時に「三代目から教えられたことは「常に何かをしろ」というひと言だけだった」と末永さんは言います。
「確かに、何も考えていない時はありません。頭の中は常にお酒のことについて長けているように頑張るだけです。」



1992年3月、同じ学部仲間と行ったグアムへの卒業旅行。この頃は、杜氏になるとはまったく考えていませんでした。1番右が末永さん。

伝統の味を守りながら チャレンジする気持ちも忘れずに

杜の蔵の日本酒は、すべて米と水だけで造る純米酒。こまかしが利かないのが特徴。使う米は三瀬の「夢一献」と糸島の「山田錦」だけです」と語るのは、広報を担当する総務係長の末次史朗さん。末永さんは「その年の米質によって早く見極めるのが、杜氏としてとても大切」と語ります。米質によって、洗いや蒸しの時間を変えたり、発酵時の温度を調整したりと、あらゆる微調整を繰り返すそうです。
「100年以上の歴史がある蔵ですから、気候や米質にかかわらず、造る酒の基本コンセプトを変えるわけにはいきません。努力して、受け継がれてきた味を守るだけです。と同時に、新しいことにチャレンジする気持ちも忘れてはいけません。」
末永さんは、各地で開催される「日本酒の会」などに出席し、実際に日本酒を飲んで一般の方々の意見に耳を傾けているそうです。

「まず、自分自身のことをよく知って、自分が本当にやりたいと思うことを早く見つけてください。好きこそものの上手なれ」という言葉があるように、やりたいことはうまくできません。長続きもするはずですよ。ただ、好きなことをやるにも辛抱は必要だということだけは覚えておいてほしいと思います。」
杜氏という仕事に誇りを持ちながら「まだまだ修行中」という謙虚な気持ちを忘れることがない末永さん。学生の皆さんにも、きっと先輩が造る日本酒のおいしさが分かる日が来るでしょう。

「まず、自分自身のことをよく知って、自分が本当にやりたいと思うことを早く見つけてください。好きこそものの上手なれ」という言葉があるように、やりたいことはうまくできません。長続きもするはずですよ。ただ、好きなことをやるにも辛抱は必要だということだけは覚えておいてほしいと思います。」
杜氏という仕事に誇りを持ちながら「まだまだ修行中」という謙虚な気持ちを忘れることがない末永さん。学生の皆さんにも、きっと先輩が造る日本酒のおいしさが分かる日が来るでしょう。

1 精米した米の蒸し上げ作業。熱々の蒸し米を素手で素早く広げていきます。

2 蒸し上がった米を、麹室(こうじむろ)に上げ、適温まで冷ましたところで麹菌を振り掛けます。50時間ほどで麹米になります。

3 大きなタンクでのろもろ作り。このタンクに、ぬれ米、蒸し米を仕込み、発酵させます。頃合いを見て搾れば日本酒の完成です。

福岡大学病院新診療棟 待望の開院

平成23年1月4日(火)、福岡大学病院新診療棟が開院しました。新診療棟の誕生によって、福岡大学病院の医療・看護はどのように変わるのか。また、地域社会にどのような役割を果たしていくのか。病院長と看護部長にお聞きしました。



オープンテラス風の中庭は患者さんの憩いの場。



最先端の施設・設備が整った新館4階の総合周産期母子医療センター。



地下鉄福大前駅からエスカレーターを使って病院の中へ。雨の日でも車をささず移動が可能。



新館7階の病棟一般室の内観。広々とした空間は、患者さんやご家族の皆さんに対して優しい設計。



メディカルフィットネスセンターでは、患者さんのリハビリテーションや生活習慣病予防の運動療法等でも使用。



メディカルホールでは、健康増進に関する講演会などを開催。

福岡大学病院新診療棟 階別構成	
7階	病棟 消化器センター45床(消化器内科)、特室3床
6階	病棟 ハートセンター48床(循環器内科、心臓血管外科、CCU)
5階	病棟 小児医療センター38床(小児科、HCU)
4階	病棟 総合周産期母子医療センター70床(NICU、GCU、MFICU等)
3階	外来 ●小児医療センター ●皮膚科・形成外科・美容医療センター ●ハートセンター ●消化器センター ●女性診療センター ●アイセンター 遺伝医療室
2階	外来 ●消化器センター ●呼吸器センター ●心臓血管センター ●脳神経センター ●腎臓センター ●泌尿器センター 内視鏡センター 中央採血室・心電図室
1階	外来 ●総合診療部 ●東洋医学診療部 ●予防医学センター ●運動器・骨格・脊髄センター 放射線部 臨床研究支援センター 医療安全管理部 地域医療連携室 医事課 計算・会計フロント
地下1階	栄養部 スターバックスコーヒー 多目的室
地下2階	福大メディカルホール 1階は300席の講演会用メディカルホール、地下1階は トレッドミル、エアロバイク、負荷心電図装置などを備えた メディカルフィットネスセンター。
別棟	福大プラザ 地下鉄七隈線の福大前駅と新館とを地下で直結する、天井が ガラス張りの明るい空間。各棟案内や展示作品等の展示 スペースを設け、地域住民や学生との交流の場となります。

この春、本学看護学科の1期生たちが巣立つ。それと並行して看護の道を歩んでいきます。看護学科生たちは、在学中に福岡大学病院で実習経験を積み

大 変立派な新診療棟が完成したことを、うれしく思っています。私たちが今、医療人として心掛けるべきことは、可視化に努めること。安全面でも何もしない医療・看護が求められている時代に、新診療棟のスケルトン(ガラス張り)の外観は、まさに可視化できる医療・看護の現場を象徴していると思うのです。何としても私たちは、素晴らしい建物に負けないような、中身がしっかりとした看護を心掛けていかなければならないと考えています。



福岡大学病院
看護部 看護部長
坂本 眞美

新診療棟の建物と同じ
可視化できる医療・看護を目指して

わけですが、多くの学生が「福岡大学病院で働きたい」と言ってくれます。全国の病院が看護士の確保に苦労している中で、このような状況が生まれるというこの自らが、勤務している看護士や事務スタッフの素晴らしいことを物語っているのではないのでしょうか。それらのことを考えると、いつも私は自分自身のことを「日本一幸せな看護部長だ」と思っています。

新診療棟の完成によって、看護士が働く環境はとて良くなりました。本館と併せて一つの大学病院です。患者さんにとっても、トイレや洗面所といったハード面で新診療棟と本館の間には少なからず格差が生じてしまっています。その格差を、私たちがソフト面でしっかりとカバーしていくことが、看護士としての大きな役割だと思っています。

私が大好きな言葉に、以前の病院長で「あたたかい心」の形は心をつくります。心は形をつくれます。新診療棟という立派な形ができたので、今度は私たちが心づくりにしていくべきです。そこで、本館での看護士と患者さんに満足していただけるものになると信じています。

「あたたかい医療」のさらなる充実のため、看護部も今まで以上に懸命に取り組んでいきます。



福岡大学病院
院長
内藤 正俊

地域に、アジアに、
より「あたたかい医療」の提供を

新診療棟の特徴としてまず挙げられるのは、臓器別センター化です。従来の外来は、循環器や消化器の疾患でも内科と外科に分かれていて、一般の患者さんにとっては「どっちに行けばいいのかわからない」ということがありました。そこで、循環器ならハートセンター、消化器なら消化器センターなど、内科と外科を統合したトータルケアを目指しています。

もう一つの特徴は、予防医学や健康増進に向けた予防医学センターやメディカルフィットネスセンターを併設していることです。予防医学センターでは、医学部や薬学部と、メディカルフィットネスセンターではスポーツ科学部と連携を図り、総合大学ならではの強みを生かしていきます。「病気になつたから病院に行く」のではなく、「病気になるために病院に行く」という新しいスタイルを確立させ、健康のための情報発信基地という基本方針をさらに強化していくと考えています。

また、総合周産期母子医療センターでは、妊娠の後期から出産後の新生児段階までの難しい疾患を、最先端の施設で総合的に診察していくことも大きな特徴と言えるでしょう。

福岡大学病院には「あたたかい医療」という基本理念がありますが、新診療棟が完成したことによって、この病院に所属する医師や看護士スタッフのすべてが「あたたかい医療」をさらに発展させていくことを考えなければなりません。そのために、院長として、医師、看護士スタッフが働きやすい環境をつくっていくことが大切だと思っています。気持ちよく働いてこそ、「あたたかい医療」が提供できるわけですから、当病院の基本方針にある「社会に必要とされる優れた医療人を育成すること」ができることを考えているからです。

基本方針には「地域に開かれた中核的医療センター」という項目もあります。地下鉄の駅との直結や、交流の場となる福大プラザ、メディカルフィットネスセンターの併設などで、七隈周辺や城南区の皆さんにさらに開かれた病院となります。

また今後は、周辺地域に限らず、アジアにも開かれた病院でなければならぬと考えています。昨年は韓国との協定を結び、今年、中国の病院とも協定を結ぶ予定です。福岡には、中国、韓国、台湾から年間たくさんの観光客が訪れていますが、いずれは多くの方が治療のために福岡に来るといふ場合が出てくるでしょう。受け入れる私たちは、勉強をする必要があります。総合大学ならではのさまざまな連携を進めていくわけですから、新診療棟完成に伴う福岡大学病院のより「あたたかい医療」に期待していただく。

1973年の開設以来、
「あたたかい医療」を
提供してきた福岡大学病院。

そして、2011年1月4日、
待望の新診療棟が誕生。

今と昔で

景色は大きく様変わりしているが、
福岡大学病院としての
基本姿勢は変わらない。

地域に向けて、
さらなる「あたたかい医療」を
目指していきます。



2011

1978年の写真とほぼ同じ位置から撮った写真。五ヶ村池の半分が埋め立てられ、病院へと延びる道路の位置が大きく北側に移動しています。昔はなかった医学部看護学科棟と新診療棟が、かつてのどの位置に建っているのか、比較してみましょう。

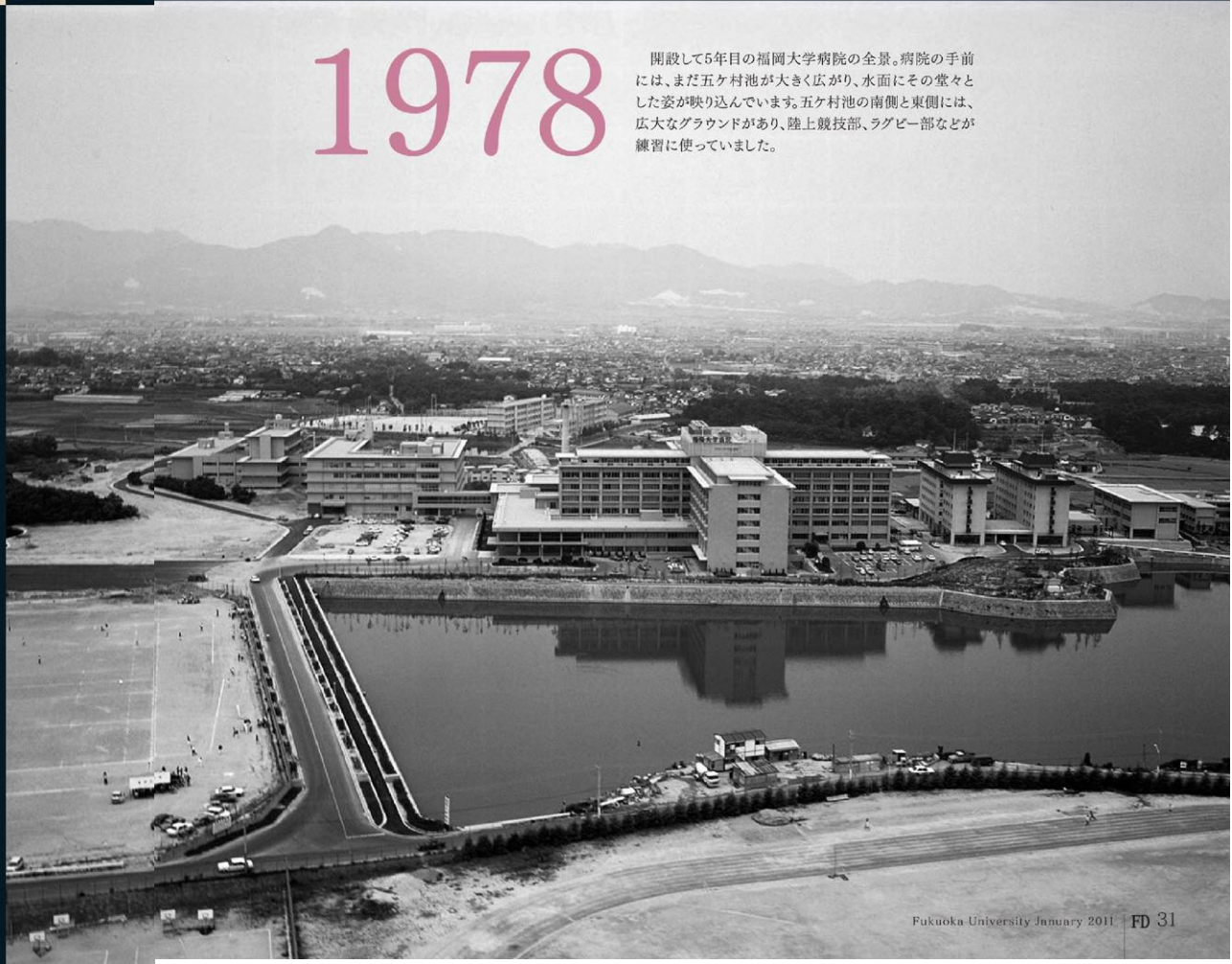


1983

病院の南側に医学部研究棟別館や講義棟が完成。さらに中庭も整備され、現在の形に近づきました。また、写真右端部分の五ヶ村池の一部がヘリポートとして埋め立てられました。

1978

開設して5年目の福岡大学病院の全景。病院の手前には、まだ五ヶ村池が大きく広がり、水面にその堂々とした姿が映り込んでいます。五ヶ村池の南側と東側には、広大なグラウンドがあり、陸上競技部、ラグビー部などが練習に使っていました。



福岡リーガルクリニックセンター



リーガルクリニックの内観。

無料で法律相談ができる法律事務所が、福岡大学のキャンパス内にあることを知っていますか？ヘリオスプラザ5階にある「福岡リーガルクリニックセンター（福岡リーガルクリニック法律事務所）」では毎週水曜日の13時から18時まで、地域の方々や本学在学生等を対象に2人の弁護士が無料の法律相談に応じてくれます。

この福岡リーガルクリニックセンターについて、法科大学院長の山下義昭教授にお聞きしました。

「このクリニックは、本学法科大学院で学ぶ大学院生や修了生たちの臨床法学教育の場となることを目的に、2010年に開設されました。法科大学院を医学部に例えれば、リーガルクリニックには大学病院の役割を期待しています。医学部の学生が、大学病院で実際の患者さんの治療に立ち会って医療を学ぶように、法曹を目指す人たちがクリニックでの法律相談に立ち会って法律を学んでいくというイメージです。また、大学病院に最先端の医療技術が集まるように、リーガルクリニックには最先端の法曹のノウハウが集約されるため、若手弁護士の再教育の場としても期待しています。さらに、福岡大学病院が地域に根ざした医療を展開しているように、このクリニックも地域に根ざした法律事務所を目指してまいります。」

今は立ち上がったばかりなので、法律事務所としての実績を積みむことを中心に、地域の方々からのさまざまな法律相談に対応しているとのこと。

「架空請求や悪徳商法など、在学生を狙った犯罪も増えてきています。何か困ったことがあれば1人で悩まず、まずはクリニックで相談してください」と山下院長。

各学部との連携、法科大学院を修了した後の就職先としての定着など、将来性も豊か。まずは気軽に相談できる法律相談所として皆さんの意識の中にとめておいてほしいと思います。

お問い合わせ

092-874-9292

気軽に連絡してください。

無料相談できる法律事務所がキャンパス内にあることを知っていますか？



「とにかく困ったことがあったら相談を」と語る山下院長。

来てみて 話して こころの整理

ヒューマン ディベロップメント センター (HDセンター:学生相談室)のご案内

ヒューマンディベロップメントセンターでは、春季休暇中も、カウンセラーが皆さんからの相談を受け付けています。

- 春休みの過ごし方を考えたい
- 卒業を前に気持ちの整理をしたい
- …など、どんな相談でも結構です。

一人で悩まずに、一度来てみませんか？

相談内容の秘密は守りますので、安心して相談してください。



【相談時間】 月・水・金 9:30～16:00
火・木 9:30～18:40

【場 所】 学生部事務室棟3階

○ご家族・教職員の皆さまのご相談もお受けしています。

相談は無料
予約制です

ホームページ
(<http://www.adm.fukuoka-u.ac.jp/fu816/home1/hd1.htm>)

ご予約 092-871-6631 (内線2630)
お問い合わせ ※電話は16時30分までお願いします

春季セミナーのお知らせ

春休み期間中、下記のグループ・セミナーを実施しています。どの学年の人でも参加できるので、関心のある人は、気軽に問い合わせください(参加費は無料です)。



社会で役立つ対人関係スキルセミナー
(担当: 屋宮、人文学部教授 血田洋子)
2月17日(木)、24日(木)、3月3日(木) 12:40～16:00

なりたいたい自分探しセミナー
(担当: 屋宮、就職・進路支援センター職員)
2月28日(月)、3月7日(月)、14日(月) 12:40～16:00

自己表現講座 (担当: 屋宮、白木)
3月10日(木)、17日(木)、24日(木) 12:40～16:00

食と心の関係 (担当: 松尾)
3月15日(火)、16日(水) 13:30～16:30



4日間連続で行われる新司法試験の最終日には、貸与された「新司法試験用論文」を持ち帰ることが出来ます。右は、山本さんが一度目に受験した時のもの。「不合格だった自分への戒め」として常に持ち歩いていたそうです。



平成22年新司法試験に合格。
法曹としての
スタートラインに立ち、
「日本の正義」を守っていく二人。

福山 聖さん

(福岡大学法学部 平成17年卒業 法科大学院 第2期生)

山本 洋介さん

(福岡大学法学部 平成18年卒業 法科大学院 第3期生)

最後のチャンスに
「やるしかない」という
気持ちで挑んだ

「合格を知った時は、とにかくホッとした」と語る福山さんは、本学法科大学院2期生の福山聖さん。「人のために尽くす仕事がいい」と一度は医師を目指すも受験に失敗。本学の法学部に入學し、法曹への道を志します。

「入學した頃はまだまだ漠然としか考えていませんでしたが、3年次の時に福岡大学法科大学院のことを知り、通い慣れた福岡大学で法曹を目指したいと思い入學を決めました」と福山さん。

二度の司法試験不合格で目標を

見失いかけたこともありましたが、約3カ月間、弁護士事務所でのアルバイトをし、法律に慣れたことで、あらためて自分の気持ちを確かめることができました。

それからは、不安な日々もありましたが、同僚、先輩の温かい先生、友人、先輩、後輩の温かい支えに、「やるしかない」という気持ちで三度受験できた最後のチャンスに挑みました。

福山さんがこれから目指すのは弁護士。

「依頼者の心の痛みが分かる弁護士を目指す。不安の中にある依頼者にとって、納得のいく解決ができる弁護士になりたいです」と力強く語ります。「法律の勉強だけでなく、幅広い分野の勉強を心掛けてほしい」と、これから司法試験突破を目指す後輩たちに激励の言葉を語ってくれました。

自習室の
ビリビリとした空気が
常に緊張感を
与えてくれた

山本さんも、福山さんと同じ本学法学部の出身。二度目のチャレンジ



福山 聖さん

合格直後には、絶対といわれてきた日本の司法を揺るがす大きな事件がありました。「司法の信頼を取り戻し、揺らぎを食い止めていく。私たちがその役目をはたせるように頑張りたいです」と意気込む山本さん。

「本学法科大学院では少人数で学べるので、司法試験合格」という同じ目標に向かって、全員が同じ気持ちで頑張れるのが特長。しかし、相当な覚悟を持たないといっていけない厳しさが現実にあります。これまでも日々を振り返っていました。

司法試験という狭き門を乗り越えたといえ、二人にとってはこれがスタートライン。日本の正義を守るため、真に信頼される法曹となることを願っています。

「一度目の試験で不合格になった時は、悔みながらも、すぐに気持ちを切り替えました。同じ年の合格者からいろいろなるアドバイスももらって、自分に何が足りなかったのかを考えました。何よりも、大学院の自習室のビリビリとした空気が、常に緊張感を与えてくれました。」

山本さんは次の目標をこう語ります。「目指すのは、検察官か弁護士のどちらか。正義感が強い自分の性格には、裁判官よりも合っていると思います」と語ります。



山本 洋介さん

Fの鼓動
動いている。
聞こえてくる。
学生たちの強い鼓動が。

全日本学生大会優勝報告会 ならびにアジア競技大会壮行会を開催

平成22年10月28日(木)、8号館前広場において「全日本学生大会優勝報告会」ならびに「アジア競技大会壮行会」を開催しました。

最初に、第29回全日本学生柔道体重別選手権大会男子100kg超級で優勝した七戸龍さん(スポーツ科学部4年次生)がその喜びを報告。続いて、第16回アジア競技大会(中国・広州で開催)サッカー代表の永井謙佑さん(スポーツ科学部4年次生)、同陸上競技女子400m代表の田中千智さん(スポーツ科学部4年次生)が、それぞれ健闘を語りました。

広場は、体育部会各部の部員をはじめ、学生や教職員など約800人で埋め尽くされ、応援指導部と参加者が一体となって校歌を合唱し、エールを送りました。七戸さんの快挙をたたえるとともに、永井さん、田中さんのアジア競技大会出場を祝し2人を激励しました。



3人にはお祝いと激励を込めて花束が贈られました。

サッカー部の永井謙佑さんが、 アジア競技大会金メダル獲得凱旋会見



アジア大会の金メダルを胸に、サッカー場にて乾監督とともに記念撮影。

中国・広州で開催された第16回アジア競技大会で得点王(5得点)に輝き、サッカー日本代表の金メダル獲得に大きく貢献した本学サッカー部の永井謙佑さん(スポーツ科学部4年次生)が、平成22年11月29日(月)にヘリオスホールで凱旋会見を開きました。

会見には、テレビ局や新聞社など多くのマスコミ関係者が駆け付け、永井さんの注目の高さを物語る盛況ぶり。本学サッカー部監督の乾真寛教授とともに会見に臨んだ永井さんは、「日本代表としてアジア大会で初めての優勝を飾ることができ、とてもうれしいです。今回のメンバーは、Jリーグの主要メンバーがいなくて2軍」といわれることもありましたが、それを見返したいという気持ちをモチベーションにして、チーム全体が勝つことに集中していました」と語りました。

乾監督は、ここまで育ててきた永井さんを「瞬間的なスピードと点を取るイメージネーションに秀でた、これまでの日本代表に欠けていたストライカー」と評します。

会場で「選手としてだけでなく、人間的にも成長できるチームに進みたい」と語っていた永井さんは、後日、J1名古屋グランパスへの入団が決定。春からはJリーガーとしての活躍はもちろんのこと、2012年のロンドンオリンピック、2014年にブラジルで開催されるFIFAワールドカップに向けて、さらなる飛躍が期待されています。

本学出身のサッカー日本代表選手として、坪井慶介さん以来のワールドカップ出場に期待がかかります。



会見には多くの本学学生や教職員、マスコミ関係者が参加。



アジア大会での様子を振り返りながら記者会見に臨んだ永井さんと乾監督。

福岡大学創立75周年記念事業募金 寄付者の顕彰を実施

福岡大学創立75周年記念事業募金への寄付者の方に対して、次の顕彰を行いました。

1.芳名録作成

寄付者芳名を「芳名録」に記し(平成22年7月発行)、福岡大学の歴史に留めさせていただきました。また、「芳名録」を大学史料室に展示しました。



2.銘板設置

個人5万円以上(法人は100万円以上)の寄付者芳名を、募金対象事業の附属大濠中学校・高等学校本館及び体育館、福岡大学病院新館の「寄付者銘板」に刻み(それぞれ平成22年10月、11月に設置)、顕彰させていただきました。同じく募金対象事業の新中央図書館棟(仮称)、商学部棟(仮称)の「寄付者銘板」は平成23年度に設置する予定です。



3.高額寄付者顕彰

平成22年10月9日(土)、個人100万円以上(法人は500万円以上)の高額寄付者の方に対して「顕彰式・懇親会」を開催しました。「顕彰式」は、文系センター棟15階第5会議室で行われ、衛藤学長から感謝状が贈呈されました。その後、16階スカイラウンジにて、高額寄付者の方と本学募金推進委員会委員との「懇親会」を行いました。



第21回懸賞論文で優秀賞、佳作を選考

第21回懸賞論文(学生部主催)で「現代を考える」をテーマに募集を行い、厳正なる選考の結果、次のとおり優秀賞と5編の佳作が決定しました。



	優秀賞	高岡 千香さん(医学部第2学年)	「国際協力とボランティア活動」
佳作		井上 舞さん(医学部3年次生)	「インターネットが人間関係に及ぼす影響と社会の関わり」
		山下 知宏さん(医学部第1学年)	「思い遣る力」
		田中 希さん(薬学部4年次生)	「生きること 食べること」
		濱本 晃一さん(薬学部4年次生)	「薬に埋もれる人々」
		徳留 康弘さん(工学部第2学年)	「現代を考える～命の選別と決定権」

伝統の一戦「福西戦」で応援合戦を行いました



大応援団による勝利を手にした後のエール交換。

平成22年9月26日(日)、小郡市野球場で平成22年度九州六大学野球秋季リーグ戦「福岡大学対西南学院大学」が行われました。

応援指導部、在学生、卒業生、教職員が参集。また市民の皆さまにも多数ご参加いただき、約500人の福岡大学大応援団を結成しました。両大学学長による始球式と、両大学応援団によるエールの交換が行われ、「伝統の一戦」を感じさせる光景が広がりました。試合中は応援団の大きな声援の後押しもあり、選手たちも好プレーを連発。試合は4対0で快勝しました。

球場にお越しいただきご声援をくださいました皆さま、ありがとうございました。



熱戦を繰り広げた選手たち。

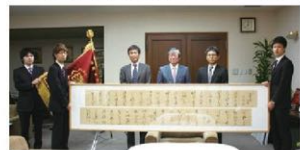
おそろいのTシャツを着用し、気持ちを一つに応援。

■ 創立50周年を迎えた書道部が「福岡大学校歌の書」を寄贈

平成22年9月25日(土)、書道部創立50周年を記念して、書道部とその同窓会である書心会から本学に大原憲龍書「福岡大学校歌」が寄贈されました。「筑紫野は玄海の汐さいはるか…」で始まる校歌の第1番から第3番までの歌詞が揮毫されています。

10月8日(金)、揮毫された大原先生(本学書道部講師)が衛藤卓也学長を訪問、額額(66cm×280cm)に納められた書を披露しました。大原先生は「玄海に臨む自宅で汐さいを聞きながら、学生と卒業生の思いや誇りを胸中に全力で筆を揮いました。単なる揮毫ではなく芸術性を追求しました」と制作状況を説明。衛藤学長からは「素晴らしい書を揮毫いただきました。学生や来訪者など多くの方々の目に留まる場所に展示したい」と謝意が述べられました。

なお、「福岡大学校歌」は平成22年9月22日(水)から26日(日)にかけて福岡市美術館で開催の「創立50周年記念書道展」で展示。書家をはじめ多くの来場者から好評を得ました。



■ 七戸龍さんが全日本学生柔道体重別選手権大会男子100kg超級で初優勝



平成22年10月9日(土)、10日(日)に、全日本学生柔道体重別選手権大会(男子29回、女子26回)が日本武道館で開催されました。本学から出場した柔道部の七戸龍さん(スポーツ学部4年次生)が男子100kg超級において初優勝を果たしました。男子100kg超級における優勝は本学初の快挙となります。また、同大会に出場した石本智子さん(スポーツ学部3年次生)が、女子78kg級で3位に入るなど大健闘しました。

■ 福大ニコニコ健康づくり講座2010を開催

平成22年10月3日(日)、「福大ニコニコ健康づくり講座2010」を開催し、80人を超える地域の方が参加。スポーツ科学部の田中宏曉教授による健康づくりに関する講演の後、参加された皆さんは第二記念会堂でのステップ運動と陸上競技場でのスロージョギングに分かれて体を動かしました。田中教授が考案したステップ運動は、10分単位で年齢に応じた一定数のステップ運動を繰り返すだけで、カロリーを消費し健康な身体づくりができるというもの。20センチほどの踏み台さえあれば家の中でも手軽にできます。また、スロージョギングは、小さな歩幅で、歩くくらいのスピードで行うジョギング。参加者は、田中教授にそのコツを聞きながら、さわやかな汗を流していました。



ステップ運動は、自分の心拍数を計りながらの踏み台運動。歩くように走るスロージョギングは、カロリー消費に効果的。



■ 高齢者に優しいプログラムと政策の実現に向けた高齢者のための国際会議(福岡ACAP 2010)を本学で開催



平成22年10月30日(土)、31日(日)の両日、本学で高齢化問題の国際会議、アジア太平洋アクティブエイジング会議2010(略称:福岡ACAP 2010)が開催されました。

国内を含めてアジア各国から2日間で約700人の参加があり、地域の介護支援、国境を越えた高齢者ケアをテーマに基調講演、シンポジウム、ワークショップが行われました。シンポジウムには本学をはじめとする地下鉄七隈線沿線の三大学(福岡歯科大学、中村学園大学、福岡大学)が参加しました。

■ 第55回七隈祭、第9回ホームカミングデーを開催

平成22年11月4日(木)から6日(土)まで、本学学園祭である「第55回七隈祭」が開催されました。期間中は晴天に恵まれ、多くの方がキャンパスを訪れ、展示や催し物、模擬店を楽しみました。特に、6日(土)に開催された押切もえさんのトークショーには、朝早くから整理券を求める人で長蛇の列が

できるほど。ほかにも地域展示や子どもパークなど、地域の方々と絆を深める企画も数多く用意されました。

5日(金)、6日(土)には商学部第二部の「第12回雅祭」、4日(木)から6日(土)には医学部の「第30回医学祭」も開催され、七隈祭同様の盛り上がりを見せました。

＜七隈祭の様子＞



「ART STAGE」で運動する出演者たち。



晴天に恵まれ、学内外から多くの方が来場されました。

＜雅祭の様子＞



地域の子ともたちの触れ合いを目的とする「こども企画」。



ステージを観戦する来場者たち。立ち見が出るほどのにぎわいでした。



2日目は、「Campus Queen」が決まりました。

＜医学祭の様子＞



A棟7階で「医学展示」を行い、医学部生が来場者に臓器についての説明を行いました。

また、11月6日(土)には60周年記念館ヘリオスホールで「第9回ホームカミングデー」を開催。前回は5月に開催しましたが、本年度は来学されたOB・OGの方に学園祭でわくキャンパスを楽しんでいただこうと、この時期の実施となりました。

式典では、衛藤卓也学長と川畑懿子有信会理事長があいさつ。その後、スポーツ科学部の田中宏曉教授による「ここ

にこベースの健康づくり」と題した講演、マンドリンクラブと交響楽団による演奏に続いて、メールハーモニー部と参加者全員で校歌を斉唱しました。

来学いただいたOB・OGの方には、記念品として大学オリジナルグッズの名刺入れを進呈。さらに、模擬店で利用できるバザークーポン券も配布して、久しぶりの学園祭を満喫していただきました。



あいさつをする衛藤学長。



福岡大学式典序曲を演奏する交響楽団。

EVENT SCHEDULE

1月 冬季休業終了(5日)
後期授業再開(6日)
後期授業終了(13日)
大学入試センター試験(15日・16日)
後期定期試験(17日～27日)

2月 学部留学生入試(2日)
一般入試(前期日程)(本学・地方4日～9日、11日、12日、15日)
医師国家試験(12日～14日)
成績発表開始(医学部医学科第1学年)(14日)
(4年次生以上 他)(15日～)
大学院春季入試(16日～21日)
保健師国家試験(18日)
海外研修生派遣(豪州)(18日～3月18日)
海外研修生派遣(米国)(18日～3月18日)
一次学士合格者発表(19日)
看護師国家試験(20日)
海外春期中国語研修生派遣(中国)(20日～3月6日)
一般入試(前期日程)、センタープラス型入試、
大学入試センター試験利用入試合格発表(22日)
学部留学生入試合格発表(22日)
追・再試験(25日～3月2日)
交換留学生派遣(中国・中国(台湾)・韓国)

3月 修士・博士学学位合格者発表(2日)
一般入試(スポーツ科学部特別募集)、
社会人入試(後期日程)、編・転・学士入試(4日)
大学院春季入試合格発表(4日)
一般入試(後期日程)(5日)
薬剤師国家試験(5日、6日)
二次学士合格者発表(12日)
在学生成績発表開始(14日～)
一般入試(後期日程、スポーツ科学部特別募集)、
社会人入試(後期日程)、編・転・学士入試合格発表(15日)
医師国家試験合格発表(18日)
学部卒業式・大学院学位記(修士号)授与式(19日)
商学部第二部卒業セレブション(19日)
大学院学位記(博士号)授与式(22日)
看護師国家試験合格発表(25日)
保健師国家試験合格発表(25日)
薬剤師国家試験合格発表(30日)
在学生履修登録(下旬)

4月 入学式(1日)
前期授業開始(9日)

二十四節気

1/20頃 大雪(だいこん)	一年で最も寒い時期。しかし日脚は伸びており、少しずつ春の訪れを感じる。
2/4頃 立春(りっしゅん)	寒さも峠を越え、日が長く感じられる。この日から立春の前日までが春。
2/19頃 雨水(うすい)	雪が次第に雨へと変わり、氷が解け水になる。春一番が吹き、草木がよみがえる。
3/6頃 啓蟄(けいちつ)	地中にもぐっていた虫がはい出て動き出す。一雨ごとに春を感じる。
3/21頃 春分(しゅんぶん)	昼夜の長さがほぼ等しくなり、この日を境に昼が長くなっていく。
4/5頃 清明(せいめい)	清浄明潔の路。天地がすがすがしく明るい空気に満ちること。
4/20頃 穀雨(こくう)	田畑の準備が整い、穀物を育てるために春の雨が降る。

※二十四節気は、太陽暦を使用していた時代に、季節を表すための工夫として考え出されたもので、1年を24等分にし、その区切りに名前を付けたものです。現在でも季節の節目節目に、これを示す言葉として使われています。(日付は1日程度前後することがあります)。

ななくま通信 ● NANAKUMA Communication

受章

平成22年秋の叙勲で、本学推薦の上野輝孝名誉教授および阿部眞也名誉教授が瑞宝中綬章を受章されました。
これは両名誉教授が、長年にわたり高等教育と私学経営の両面に携わり、福岡大学の充実発展に貢献するとともに、本学を通じて教育界・地域社会の発展に寄与した功績によるものです。
伝達式は、11月9日(火)、東京・国立劇場で行われました。

商学部第二部が「社会人コース」履修生を募集

商学部第二部商学科では、会社員、中間管理職、経営者、熟年層等の社会人を対象に、1年間の履修期間でビジネス・マネジメントを体系的に学べる「社会人コース」を開設しています。コース修了者には、学校教育法第105条に基づく履修証明書(社会人コース修了証)を授与します。1年間で修了できない場合には、1年間の延長が可能です(追加受講料は不要)。平成23年度履修生募集の詳細については、商学部事務局にお問い合わせください。

福岡大学病院新館竣工記念式典(内覧会)を举行

平成23年1月4日(火)に開院した福岡大学病院新診療棟の「竣工記念式典(内覧会)」を、平成22年11月27日(土)に挙行了しました。
新診療棟新館正面玄関前にて、鎌田迪貞理事長、衛藤卓也学長、内藤正俊病院長によるテープカットが行われた後、新診療棟の内覧会が行われました。
その後、福大メディカルホールにて、竣工記念式典が行われました。



テープカットの様子。左から衛藤学長、鎌田理事長、内藤病院長。



内覧会では、内藤病院長が新診療棟の特徴、設備などを詳しく説明。

第6回(平成22年度)「全国高校生川柳コンクール」入選者決定

第6回(平成22年度)全国高校生川柳コンクール(後援:文化庁、全日本川柳協会、西日本新聞社)には、全国128校の高校生6,369人から14,879作品の応募がありました。選考委員会において厳正なる選考を行い、大賞(福岡大学賞)、優秀賞、入賞の各賞が決まりました。入選作品の一覧は、本学公式ウェブサイトをご覧ください。

大賞	サイダーの 泡で疲れが 消えていく 山口 翔太さん(長崎県立長崎工業高等学校1年生)
----	---

NANAKUMA Communication ● ななくま通信

女子バレーボール部が全日本インカレで4位入賞

平成22年11月29日(月)から12月5日(日)にかけて、東京体育館を主会場に行われた全日本バレーボール大学女子選手権大会で、本学女子バレーボール部が4位に入賞しました。
グループ戦から1セットも落とさず勝ち進んだ本学は、準々決勝で優勝候補筆頭の嘉悦大学と対戦。勢いある攻撃で圧倒し、3対1で勝利し大金星をあげました。

準決勝では、秋の九州リーグでも唯一敗れた鹿屋体育大学と対戦。1対3で惜しくも敗退し3位決定戦に回りました。その3位決定戦では、残念ながら日本体育大学に0対3で敗れましたが、全国優勝を目指す女子バレーボール部は、前回3位、今回4位とあと一歩のところまで来ています。

課外活動の成績優秀者を表彰

平成22年10月4日(月)、60周年記念館ヘリオスホールで、課外活動の成績優秀者に対する表彰式を行い、個人17人および3団体に対して、小野寺一浩学生部長が表彰状を授与しました。成績優秀者を代表してあいさつを行ったサッカー部の永井謙佑さんは「ありがとうございます。学友の一員としてこれからも頑張ります」と感謝の言葉と抱負を述べました。



福岡大学給費奨学金(第2号)授与

学友会名	氏名(学部および年次)	優れた成績
サッカー部	永井 謙佑さん(スポーツ科学部4年次生)	日本代表選出、W杯日本代表帯同メンバー選出、アジア大会日本代表(U-21)選出 他

成績優秀個人表彰

学友会名	氏名(学部および年次)	大会・種目名および種目	結果
書道部	福徳 亮さん(薬学部4年次生)	第15回全日本高校・大学生書道展	大賞
	本田 寛さん(工学部3年次生)	第15回全日本高校・大学生書道展	大賞
陸上競技部	田中 千智さん(スポーツ科学部4年次生)	第94回日本陸上競技選手権大会 女子400M	優勝
		国際競技会(スイス、アフリール) 女子400M	優勝
		天皇賜杯第79回日本学生陸上対校選手権大会 女子400M	優勝
		日本学生陸上競技個人選手権大会 女子200M	2位
	記野 友晴さん(スポーツ科学部3年次生)	天皇賜杯第79回日本学生陸上対校選手権大会 男子400Mハードル	優勝
	中西 拓郎さん(スポーツ科学部2年次生)	日本学生陸上競技個人選手権大会 男子1500M	優勝(大会新)
		日本学生陸上競技個人選手権大会 男子5000M	優勝
	吉田 麻佑さん(スポーツ科学部3年次生)	日本学生陸上競技個人選手権大会 女子三段跳び	2位
	岡部 優貴さん(スポーツ科学部2年次生)	天皇賜杯第79回日本学生陸上対校選手権大会 男子三段跳び	2位
	松下 成美さん(スポーツ科学部3年次生)	日本学生陸上競技個人選手権大会 女子100Mハードル	3位
水泳部	高武 華子さん(薬学部2年次生)	第94回日本陸上競技選手権大会 女子走幅跳び	3位
		天皇賜杯第79回日本学生陸上対校選手権大会 女子走幅跳び	3位
	川野 由夏さん(スポーツ科学部1年次生)	第86回日本学生選手権水泳競技大会 女子200M個人メドレー	2位
	岡本 佐知子さん(スポーツ科学部4年次生)	第86回日本学生選手権水泳競技大会 女子200M自由形	3位
	早田 裕輔さん(文学部4年次生)	2010チャンピオンシリーズ 第2戦 男子スラローム	優勝
		2010チャンピオンシリーズ 第1戦 女子ジャンプ	優勝
		2010チャンピオンシリーズ 第1戦 女子スラローム	優勝
		2010チャンピオンシリーズ 第1戦 男子スラローム	優勝
		2010チャンピオンシリーズ 第1戦 男子ジャンプ	優勝
		2010チャンピオンシリーズ 第2戦 男子ジャンプ	優勝
モーターボート・水上スキー部	羽釜 駿次郎さん(スポーツ科学部3年次生)	2010チャンピオンシリーズ 第1戦 男子スラローム	優勝
		2010チャンピオンシリーズ 第1戦 男子ジャンプ	優勝
		2010チャンピオンシリーズ 第2戦 男子ジャンプ	優勝
	山口 友恵さん(工学部4年次生)	2010チャンピオンシリーズ 第1戦 女子ジャンプ	2位
		2010チャンピオンシリーズ 第1戦 女子トリック	3位
	井田 佳奈さん(商学部3年次生)	2010チャンピオンシリーズ 第1戦 女子スラローム	2位

成績優秀団体表彰

学友会名	大会・種目名および種目	結果
モーターボート・水上スキー部	第55回桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会 女子団体	優勝
第二部準硬式野球部	清瀬杯第42回全日本大学選抜準硬式野球大会	2位
陸上競技部	天皇賜杯第79回日本学生陸上対校選手権大会 女子400Mリレー(松下成美、田中千智、津波直、澤田美希)	3位

(平成22年4月から9月)

地域の福大 サポーター

Fukuoka University supporters in the region

福岡大学の歴史とともに変貌を遂げてきた街の風景。
今も昔も変わらないのは、学生の皆さんを見守る温かいまなざし。

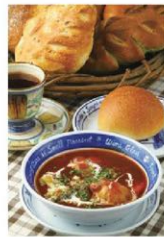
3 MADOKA/PINOKIO ○福岡市城南区東油山4-6-26 ○TEL092-861-9490

油山展望台へと続く道路の登り口にある山小屋風の建物に、天然酵母のパン工房MADOKAとレストランPINOKIOがあります。パンは園芸明さんが、レストランの料理は息子の眞佐人さんが担当。薪を焚いて手作りの石窯全体を温め、その余熱で焼き上げるという、天然酵母のパンは、暖かほろに自然の味が口の中に広がります。パンを焼くのは水曜日から日曜日まで、この焼き方は15時間ほどかかり、とても大変です。眞明さん、レストランでは、ビーフシチュー、月曜火曜限定、パスタなどをセットメニューとして提供。上品な味からボリュームがあり、学生の胃袋をつかまします。大学から少し距離はあ

自然のままに焼き上げる天然酵母パンと、こだわりの料理を楽しむレストラン



パン担当の眞明さん(左)と料理担当の眞佐人さん(右)。



ビーフシチューセットと天然酵母のパンの盛り付け。



ほとんどが手作りの店内には小さなギャラリーも併設されています。

りますがグループで来てくれる福岡大学の学生も多いです。以前アルバイトしていたのも福岡大学の学生で、卒業した今でもまた遊びに来てくれます。眞佐人さん、ドライブの行き帰りにぜひ立ち寄りください。

○福岡市城南区片江5-2 西の堤池公園(親水溜池)

1

ため池を取り囲む全長700メートルの「健康さわやかロード」で健康づくりを



池の周りにはベンチも多く、のんびりと読書を楽しむ人の姿も見られます。



地域の花壇に咲く黄色い花は、きれいな花がいっぱい。



「健康さわやかロード」は、距離表示があるので自分のペースで歩いたり、走ったりすることができます。

城南市民センターの東側に広がる公園。城南で最大の農業用ため池を、機能を生かしたまま市民の憩いの場として整備したもので、池の周辺には健康さわやかロードと名付けられた一周約700メートルに及ぶ遊歩道があります。この遊歩道は、足への負担が軽減される柔らかい素材で整備され、100メートルごとに表示が付けられていて、朝夕には福岡大学の学生をはじめ、多くの人がウォーキングやジョギングを楽しんでいます。

年間を通して美しい花々が咲き誇る花壇は、片江地区のボランティアの方々によって管理されているほか、夏まつり城南の会場として親しまれるなど、周辺地域の方々にとって最高の憩いの場となっています。

なっています。2009年の「夏まつり城南」には、創立75周年事業の一環として福岡大学もさまざまな形で参加協力し、地域の方々と連携を深めました。

本学からも近い憩いの場なので、学生の皆さんも大いに活用してみませんか。

4 カレー&パスタ CHEF(シェフ) ○福岡市城南区梅林4-1-1 城里生ビル1F ○092-873-5321

沖島賢治さんと奥さまの親子さんが切り盛りするカレーライスは、パスタの店、ランチタイムは、700円で日替りランチほかに日替りカレーやパスタを提供しています。夜はイタリアンのアラカルトが楽しめる、場所柄、医学部を中心に福岡大学の学生も多く利用しています。ビーフカレーには牛の素材だけを、チキンカレーには鶏の素材だけを、スープやサラダを仕込むこだわり。一番人気はドライカレーにバターで焼いた卵をのせ、周りに通常のカレーをかけた「ひまわりカレー」。

本格シェフが作るカレーライスとパスタは、医学部生の活力のもと



一番人気の「ひまわりカレー」。



梅林に店を構えて8年半になります。

取って病院にかかることが多いですが、福岡大学を卒業して医者になった常連さんが、「ずっとこうした方がよい」と、体のことについて主治医のようにならば、いすといふと話してくれました。



もともとはフレンチ、イタリアンのシェフだった賢治さんと奥さまの親子さん。

○福岡市城南区七隈4-3-32-1 ○TEL092-865-3668 Pasta Shop

2

持ち帰りできる自家製ソースが自慢の小さなパスタ専門店



一番人気のアリオ・エ・パンナ、ペペロンチーノのクリーム版。



「見掛けで学生さんには怖がられているかも。お店に来たらどんな話も聞いてください」と語る大久保さん。



サニー七隈店手前の路地を少し入った場所にある小さなお店。

オーナーの大久保公一郎さんが、2006年にパスタソース販売店としてスタートさせたお店。今はイトインもできるパスタ専門店として、幅広い年齢層の支持を得ています。

お昼のパスタセットは、5種類から選べるパスタにバケット、サラダが付いて680円。「来店してくれる福岡大学の学生は、みんな礼儀正しいです。看板もない口コミだけが頼りの店にずっと来てくれているのはうれし限りです。スポーツ系の格好をした学生さんが多いので、パスタの量をこっそり多めにしています」と笑顔の大久保さん。

持ち帰りができるパスタソースは、フレッシュバジルの香りがいっぱい、のべつてジューズや定番のミートソースなど4種類、ゆでたパスタに和えるだけで専門店の味が楽しめるソースは、一人暮らしの学生の強い味方。ぜひ一度訪ねてください。



「学宝」💡 探訪

vol.4 レーザーレーダー

9号館と18号館の屋上には、天文台を思わせるドーム状の建造物があります。これは、関係者の間では単に“ドーム”と呼ばれていますが、正式には「上層大気観測室」の一部。この中には福岡大学レーザーレーダーが収められています。このレーザーレーダーは、空に向かって長さ約1メートルの筒状の強力なレーザーを1秒間に20発発射し、雲や黄砂に当たって真下に跳ね返ってくる散乱光を大型望遠鏡で集め、上空にある雲や微粒子の状態を分析するシステムです。

「例えば、上空の黄砂の浮遊高度と浮遊量を知ることで、発生源との関係を探ったりすることができます。観測ターゲットは黄砂に限らず、上空にある微粒子全般。1991年に起きたフィリピンのピナツボ火山の大噴火や2000年の三宅島の雄山噴火による火山灰などの噴出物も観測しました。微粒子の成分までは分析できませんが、大きさや形は分かります」と語るのは、理学部地球圏科学科の林政彦教授。

9号館にある“初代ドーム”ができたのが1998年。「当時からこの種の設備

としては九州では福岡大学のものが最大。2009年の18号館の完成で“2代目ドーム”が動き始め“初代ドーム”は『お休みの状態』。9号館のドームも、天文台として使用するなど今後何らかの形で有効活用してもらいたいですね」と林教授。

観測を行っているのは、晴れた日の夜間（19時～23時頃）。キャンパス内でも、天空に向かって一直線に伸びる緑色のレーザーを見ることができます。ただし、かなり細い光なので、目を凝らして見てください。